



2025 年度
高知県福祉研修センター
研修便覧

よくよく

「福祉をカエルは人づくりから」

社会福祉法人高知県社会福祉協議会
高知県福祉研修センター



2025年度の研修概要

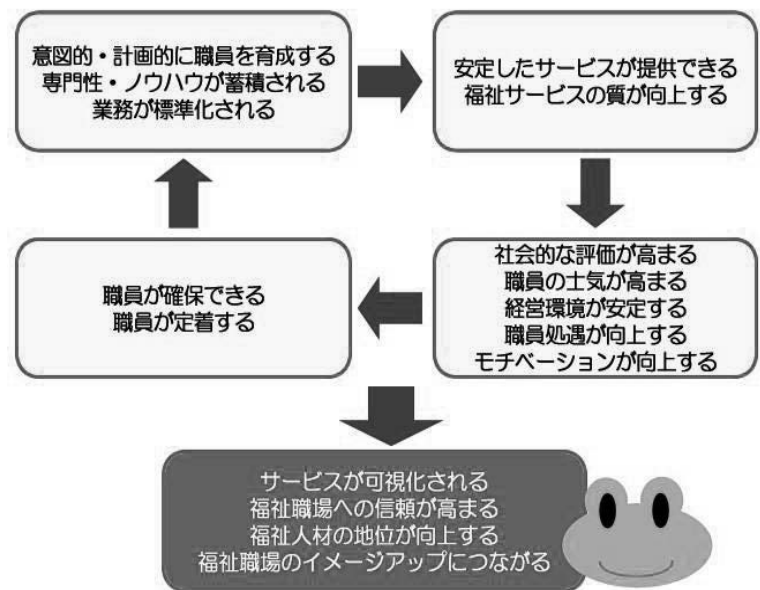
福祉職場における人材の確保と定着が重要課題となるなか、福祉研修センターでは就職した後に、職員が組織の一員として働きがいを感じるとともに、自らの専門性を高めることができる福祉職場づくりを支援する研修に取り組んでいます。

また、そのような魅力ある職場づくりを進めることが、下図の人材確保及び定着につながる「福祉職場の好循環」となると考え、研修体系を作成しています。

【福祉職場の好循環】

福祉研修センターでは、高知県及び福祉関係団体と連携し、高知県全体における福祉人材キャリアパスを構築していくため、当センターが担うべき研修を整理し、段階的に研修の充実、強化を進めています。

2025年度の研修方針及び概要は、次のとおりです。



1 キャリアパスの整備・充実を推進

職員の定着・育成のために重要となるキャリアパスを各事業所が整備・充実できるよう、初任者、中堅職員、チームリーダー、管理職員と、キャリアの各段階で求められる能力・役割を学ぶキャリアパス生涯研修課程を行い、職位階層に応じた研修を体系的に提供するとともに、コミュニケーションやケアテーマ別等の研修も引き続き実施し、職員が求められる能力を身につけられるよう支援します。

2 職員定着に繋げるための指導者層向け研修の実施

慢性的な福祉・介護人材不足のなか職員に働きつづけてもらうことが重要ですが、そのためには働きやすい職場づくりや職員指導・育成が大切となるため、今回、職員が安心して働ける職場づくりのための研修と職員指導・育成のための研修を追加し、職員育成にあたる指導的職員向け研修の充実を図ります。

3 オンラインの積極的な活用

福祉施設・事業所では、人員不足により会場まで出向く時間を確保するのが難しい場合もあるため、県内各地の職員が参加しやすいよう、引き続きインターネットを利用して受講できる研修にも積極的に取り組みます。

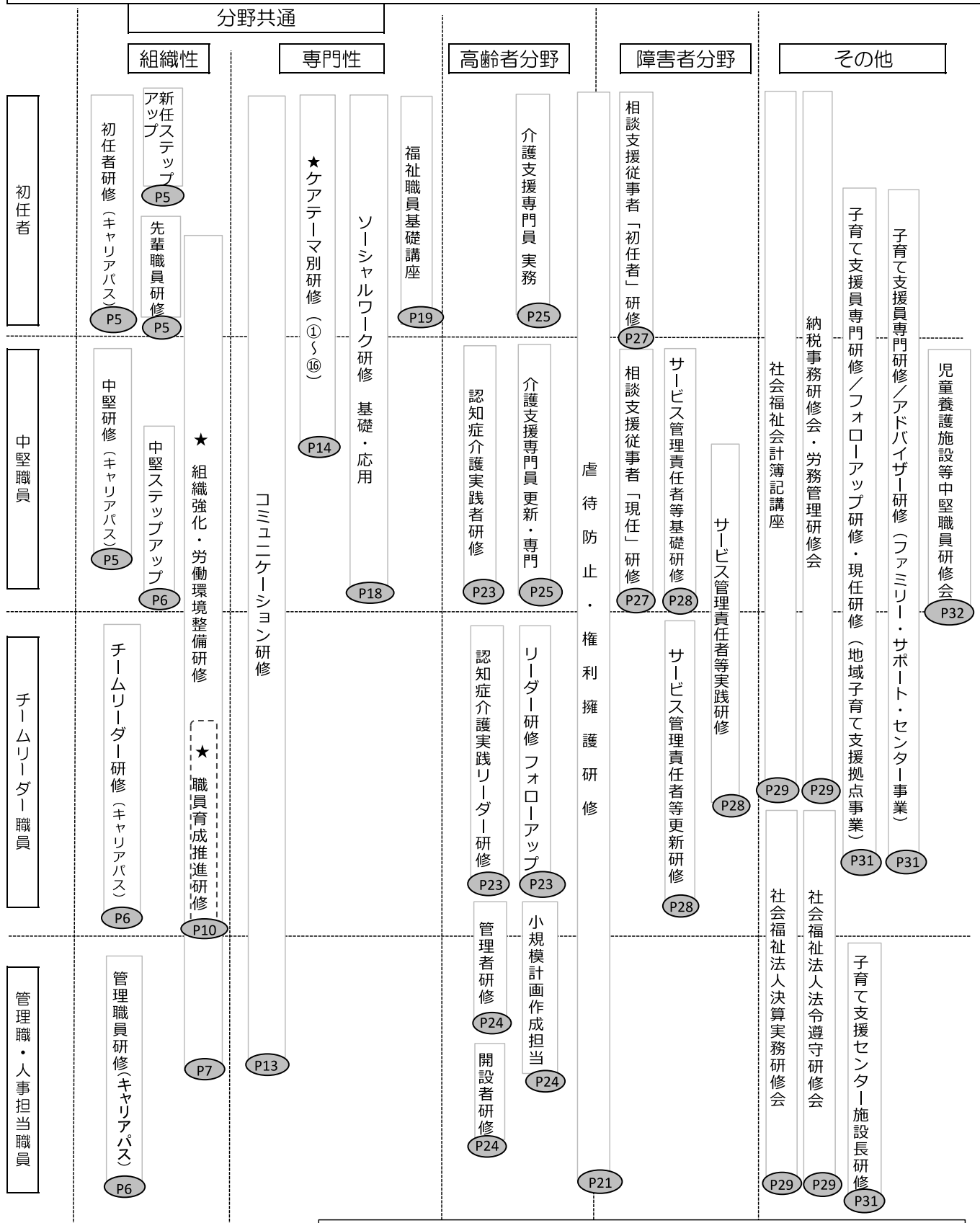
* 福祉研修センターでは、高知県内の福祉研修機関と連携して、研修を提供していきたいと考えています。
この研修便覧には、他の福祉研修機関の研修情報も掲載していますので、併せてご覧ください。

目 次

I. 職位階層別研修	4
初任者研修／新任ステップアップ研修／先輩職員研修／中堅職員研修／中堅職員ステップアップ研修／チームリーダー研修／管理職員研修	
II. 組織強化・労働環境整備研修	7
メンタルヘルス研修（基礎編・応用編）／メンタルヘルセルフケア研修／業務の標準化研修／タイムマネジメント研修／介護助手導入支援セミナー／外国人介護人材受入れセミナー／ICT活用研修／SNSの活用セミナー／福祉職場の働き方改革セミナー／心理的安全性を高める研修／初めてのZoom研修／問題発見力向上研修／分かりやすい説明のしかた研修／福祉人材確保支援セミナー／【職員育成推進研修】福祉職場の人材育成担当者養成研修／Z世代の育て方研修／年上部下への関わり方研修／ティーチング研修／プリセプター（新人育成担当者）研修／コーチング研修／スーパービジョン研修／仕事の任せ方研修／記録の書き方研修	
III. コミュニケーション研修	13
コミュニケーション基礎研修／アサーティブコミュニケーション研修／ファシリテーション研修／アンガーマネジメント研修／対人関係能力スキルアップ研修	
IV. ケア研修	14
ケアテーマ別研修①権利擁護 ②医療職との連携 ③介護技術講義 ④介護技術実践 ⑤アセスメント ⑥感染症予防基礎研修 ⑦リスクマネジメント ⑧苦情の理解と対応 ⑨介護者が受けるハラスメント ⑩接遇研修 ⑪メンバーシップ基礎研修 ⑫メンバーシップリーダー研修 ⑬レクリエーション研修 ⑭急変への気づきと対応 ⑮服薬管理 ⑯高齢者の心と体／ソーシャルワーク基礎研修／ソーシャルワーク応用研修／福祉職員基礎講座 ①介護保険サービス ②障害福祉サービス ③心理の基礎知識 ④依存の理解と対応 ⑤発達障害の基礎知識	
V. 虐待防止・権利擁護研修	21
高齢者 虐待防止・権利擁護研修（階層別）／障害者 虐待防止・権利擁護研修（階層別）／高齢者・障害者虐待防止行政職員研修／権利擁護支援・成年後見制度研修／法人後見担当者フォローアップ研修	
VI. 認知症介護研修	23
認知症介護実践研修「実践者研修」／認知症介護実践研修「実践リーダー研修」／「実践リーダー研修」フォローアップ研修／認知症対応型サービス事業開設者研修／認知症対応型サービス事業管理者研修／小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	
VII. 介護支援専門員研修	25
介護支援専門員実務研修／介護支援専門員更新（専門）研修【研修課程Ⅰ】／介護支援専門員更新（専門）研修【研修課程Ⅱ】／介護支援専門員更新研修（実務未経験者）・再研修／主任介護支援専門員研修／主任介護支援専門員更新研修	
VIII. 相談支援従事者等研修	27
相談支援従事者「初任者」研修／相談支援従事者「現任」研修／サービス管理責任者等基礎研修／サービス管理責任者等実践研修／サービス管理責任者等更新研修	
IX. 経営実務研修	29
社会福祉会計簿記講座／社会福祉法人法令遵守研修会／社会福祉法人決算実務研修会／納税事務研修会／労務管理研修会	
X. 地域福祉関係研修	30
社会福祉協議会職員研修／生活支援コーディネーター研修／あったかふれあいセンター職員研修	
XI. その他の研修	31
子育て支援員専門研修（地域子育て支援拠点事業）／子育て支援員フォローアップ研修及び現任研修（地域子育て支援拠点事業）現任者向け研修／子育て支援員フォローアップ研修及び現任者研修（地域子育て支援拠点事業）地域子育て支援センター施設長・市町村職員向け研修／子育て支援員専門研修（ファミリー・サポート・センター事業）／ファミリー・サポート・センターアドバイザー研修（ファミリー・サポート・センター事業）／福祉サービス苦情解決セミナー／児童養護施設等中堅職員研修会／子ども食堂関係研修／ボランティア・NPO関係研修	
XII. 他団体情報	33
高知県社会福祉法人経営者協議会／高知県老人福祉施設協議会／高知県地域密着型サービス協議会／高知県老人保健施設協議会／高知県児童養護施設協議会／高知県身体障害者（児）施設協議会／高知県知的障害者福祉協会／高知県保育所経営管理協議会／高知県保育士会／高知県精神保健福祉士協会／高知県介護福祉士会／高知県介護支援専門員連絡協議会／一般社団法人高知県社会福祉士会／高知県医療ソーシャルワーカー協会／公益財団法人介護労働安定センター高知支部／高知県ホームヘルパー連絡協議会／一般社団法人ナチュラルハートフルケアネットワーク／高知県子ども・福祉政策部長寿社会課	

2025年度 高知県福祉研修センター研修体系

初任者……指導教育を受けつつ業務を行う職員。概ね入職後3年以内の職員。
 ・新任職員……入職後間もなく、先輩及び指導職員から指導を受ける立場。概ね入職後1年未満の職員。
 ・先輩職員……事業所に後輩ができた職員。指導職員から指導を受けるが、自分も後輩に教える立場。概ね入職後2年未満の職員。
 中堅職員……事業所内で中核を担う職員。現場のリーダーとしてチームを動かす職員。概ね入職後3年以上経過した職員。
 チームリーダー……事業所内で人材育成を担う職員。職員の育成計画作成や具体的な指導を行う立場。
 管理職・人事担当職員……事業所の管理を行い、職員採用や配置に関わる立場。



★ 本年度に新設や拡充した研修です

このほか、他団体による専門的な研修についても紹介しています。
 詳細は33ページ以降をご参照ください。

I. 職位階層別研修

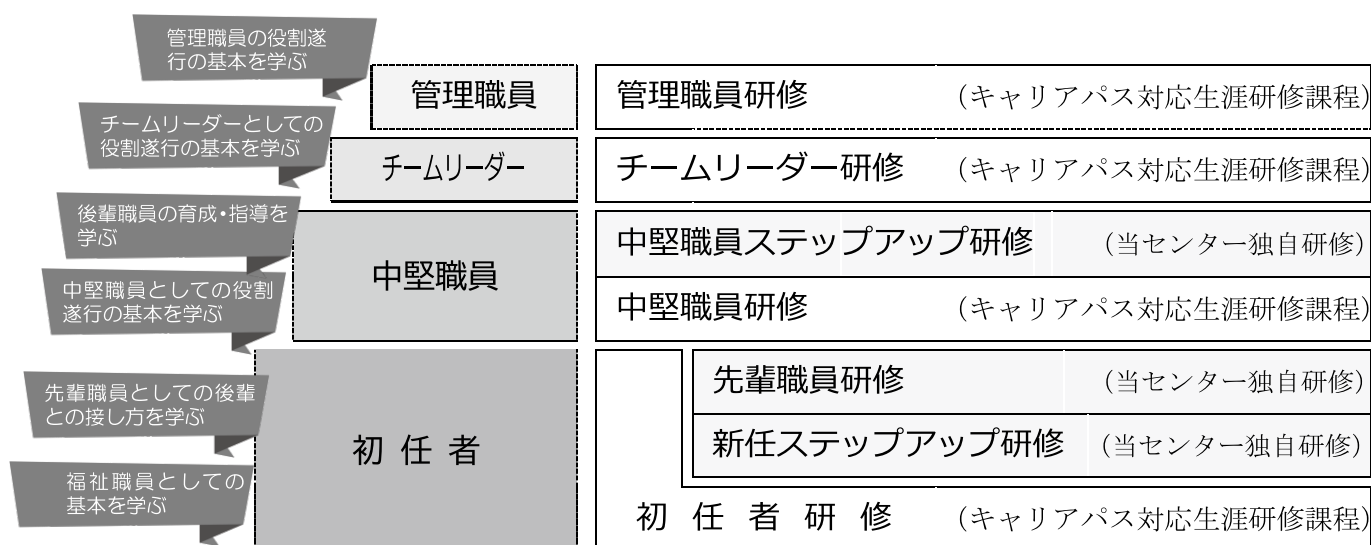
○目的

福祉サービスは、利用者の24時間・365日の生活に関わることであるため、チーム内や他事業所との連携によって、提供されています。

そのため、個々の職員はその職務の専門性を高めることと同時に、チームや組織で働くための組織性を高めることも求められます。

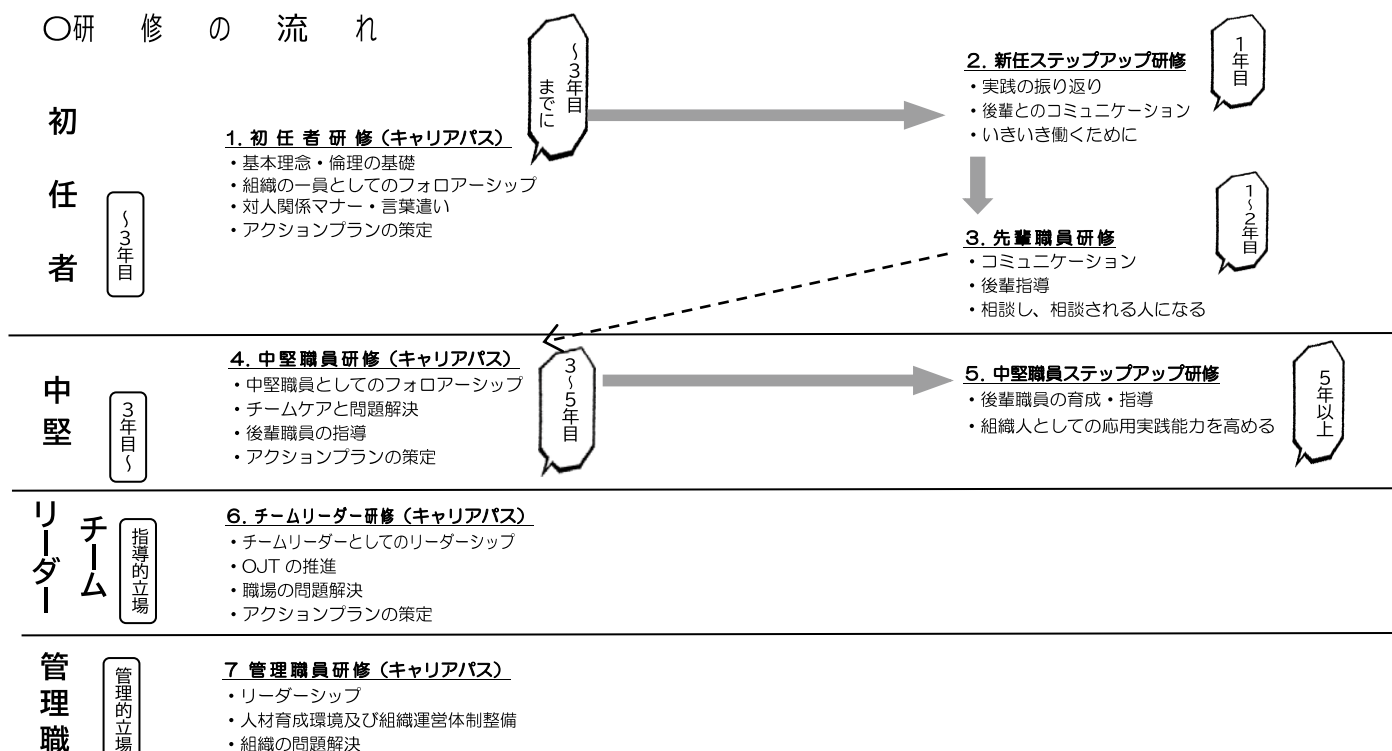
職位階層別研修では特に組織性を高めるための研修を行い、チーム内や組織間の連携を促進することを目的とします。 ※本研修を職員のキャリアパス研修としてご活用ください。

○体系図



キャリアパス対応生涯研修課程は、全国社会福祉協議会開発の全国共通プログラムとテキストを用いた研修です。福祉・介護職員の階層ごとに福祉全体に共通する専門性と、チームケアの一員をなすための組織性を学ぶとともに、自身のこれまでのキャリアを振り返りながら、今後のキャリアを主体的に描いていきます。

○研修の流れ



I. 職位階層別研修

初任者研修

全社協福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程準拠

研修時期／場所	1回目 2025年 8月14日(木)・15日(金) 2回目 2025年 10月15日(水)・16日(木) ふくし交流プラザ ※同内容を2回	受講料	10,000 円
研修の目的	福祉サービスの基本理念・倫理の基礎を理解し、チームケアの一員としてのフォローアップや対人関係マナー等、初任者として必要な能力を体系的に習得することを目指す。 ※本研修を職員のキャリアパス研修としてご活用ください。		
対象・受講要件	福祉職場経験年数概ね3年以内の方		
主な内容	○福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理 ○基本理念・倫理の基礎 ○組織の一員としてのフォローアップの醸成 ○対人関係マナー・言葉遣い ○アクションプランの策定 講師 「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」指導者		

新任ステップアップ研修

研修時期／場所	2026年3月頃 ふくし交流プラザ	受講料	3,000 円
研修の目的	福祉サービスの理念と動向を踏まえ、福祉専門職としての自身の実践を振り返る。組織人として後輩との関わりについて考える。		
対象・受講要件	福祉職場経験年数概ね1年未満の方		
主な内容	○先輩職員の体験談から学ぶ ○実践の振り返り ○後輩との接し方 ※半日型研修		

先輩職員研修

研修時期／場所	未定 / ふくし交流プラザ	受講料	5,000 円
研修の目的	チームケアを行う一員として、後輩との接し方、後輩指導や育成の大切さや姿勢を学ぶ。先輩として、福祉の仕事のやりがいを見つめ、自分自身の今後の仕事に活かすと同時に、後輩にも伝えていく。		
対象・受講要件	福祉職場経験年数概ね2年以上3年未満の方		
主な内容	○先輩として働くことの価値 ○相談し、相談される人になる ○福祉の仕事のやりがい ○後輩指導の基本姿勢 ○今後の目標		

中堅職員研修

全社協福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程準拠

研修時期／場所	1回目 2025年 7月24日(木)・25日(金) 2回目 2025年 9月11日(木)・12日(金) ふくし交流プラザ ※同内容を2回	受講料	10,000 円
研修の目的	利用者理解や後輩の指導、職場における問題解決等、中堅職員に期待される役割について理解を深め、必要な能力を体系的に習得することを目指す。 ※本研修を職員のキャリアパス研修としてご活用ください。		
対象・受講要件	福祉職場経験年数概ね3年～5年の職員		
主な内容	○中堅職員としてのキャリアデザインと自己管理 ○中堅職員としてのフォローアップの醸成 ○チームケアと問題解決 ○後輩職員の指導 ○リスクマネジメント ○他組織・地域専門職との連携 ○アクションプランの策定 講師 「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」指導者		

I. 職位階層別研修

中堅職員ステップアップ研修			
研修時期／場所	2025 年 11 月 6 日（木） ふくし交流プラザ	受講料	6,000 円
研修の目的	福祉サービスの理念と動向を踏まえたうえで、中核職員としての役割認知を深め、後輩への指導・育成の基本を学ぶとともに職場の問題解決プロセスを中心に組織人としての応用実践能力を高める。 ※本研修を職員のキャリアパス研修としてご活用ください。		
対象・受講要件	福祉職場経験年数概ね5年以上で、主任・係長等の役職にない職員		
主な内容	○中堅職員の役割 ○業務課題の解決 ○後輩指導 ○自己の能力開発 等 講師 アビリティセンター（株） 藤原 勉 氏		

チームリーダー研修			
全社協福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程準拠			
研修時期／場所	2025 年 10 月 28 日（火）、29 日（水） ふくし交流プラザ	受講料	10,000 円
研修の目的	チームリーダーとしての役割を認識し、職場の問題解決手法や指導のための手法を学ぶとともにチームリーダーとしてのキャリアデザインとセルフマネジメントのあり方を学び、キャリアアップの方向性を明確にする。 ※本研修を職員のキャリアパス研修としてご活用ください。		
対象・受講要件	近い将来チームリーダー等の役割を担うことが想定される中堅職員。現に主任・係長等に就いている職員		
主な内容	○チームリーダーとしてのキャリアデザインと自己管理 ○チームリーダーとしてのリーダーシップの醸成 ○OJT の推進 ○チームでの問題解決 ○リスクマネジメント ○チームアプローチと他職種連携 講師 「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」指導者		

管理職員研修			
全社協福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程準拠			
研修時期／場所	2025 年 12 月 17 日（水）・18 日（木） ふくし交流プラザ	受講料	10,000 円
研修の目的	管理職員としてのキャリアデザインと職場環境整備のあり方を学び、福祉サービスの基本理念と倫理の徹底・浸透のための手法を習得するとともに管理職員としてのキャリアアップの啓発課題の確認や方向性を明確にし、リーダーシップの醸成を図る。 ※本研修を職員のキャリアパス研修としてご活用ください。		
対象・受講要件	近い将来管理職となることが想定されている指導的職員。 現に小規模事業所管理者、部門管理者等に就いている職員。		
主な内容	○管理職員としてのキャリアデザインと環境整備 ○福祉サービスの基本理念・倫理を徹底する ○組織・部門管理者としてのリーダーシップ醸成 ○管理者としての能力開発と人材育成 ○業務改善、問題解決のしくみづくり ○組織運営管理体制の整備と推進 等 講師 「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」指導者		

Ⅱ．組織強化・労働環境整備研修

メンタルヘルス研修 基礎編

研修時期／場所	未定（半日） ふくし交流プラザ	受講料	3,000 円
研修の目的	ストレスを抱える職員の早期発見と対応、心の健康づくりなど福祉職場のメンタルヘルス対策の推進及び心の健康に不調をきたした職員への具体的な対応方法を学ぶ。		
対象・受講要件	福祉施設・事業所の管理職、指導的職員、人事・労務管理担当者ほか		
主な内容	○メンタルヘルスの基礎 ○安全配慮義務 ○職場復帰支援 ○ハラスメントの正しい理解 等		

メンタルヘルス研修 応用編

研修時期／場所	未定（半日） ふくし交流プラザ	受講料	3,000 円
研修の目的	円滑な人間関係を築き、より良い職場環境を作るため基礎研修に続き傾聴スキル、アサーションなどメンタルヘルス対策のためのコミュニケーションについて学ぶ。		
対象・受講要件	福祉施設・事業所の管理職、指導的職員、人事・労務管理担当者ほか		
主な内容	○傾聴スキル ○アサーション ○パワーハラスメントについて 等		

メンタルヘルスセルフケア研修

研修時期／場所	未定（半日） ふくし交流プラザ	受講料	3,000 円
研修の目的	日々の生活の中で心を健康に保つためには「セルフケア」が必要となります。この研修会では自分自身の心の疲れに気づき健康な心を保つための「セルフケア」について学ぶ。		
対象・受講要件	福祉・介護現場に従事する方		
主な内容	○生活リズムについて ○本人の考え・意識 ○リラクゼーション方法		

業務の標準化研修

研修時期／場所	2025年9月4日（木） ふくし交流プラザ	受講料	6,000 円
研修の目的	業務を標準化することの意味と効果、手順書（マニュアル）の整備の仕方、手順書作りによる利用者サービスの質の向上の実現、手順書作りの活動実践による職場の活性化等を、講義と演習で具体的に習得することを目的とする。		
対象・受講要件	福祉施設・事業所の管理職、指導的職員、手順書作成に関わる現場指導職等（経営職・管理職と現場指導職のペアで参加していただくとより効果的です）		
主な内容	○業務の標準化の意味と職員の職場定着の関係 ○標準化が必要な業務の洗い出し ○いい手順書とは「仕事の急所」が書いてある手順書 ○手順書の作り方実践 等 講師 （株）エイデル研究所		

タイムマネジメント研修

研修時期／場所	未定（半日） オンライン開催	受講料	5,000 円
研修の目的	限られた時間の中でできるだけ無駄のない業務の進め方を行うタイムマネジメントの重要性を理解するとともに、仕事の整理、見える化及び仕事の改善など、段取り力を向上させる手法等を学ぶ。		
対象・受講要件	福祉職場経験年数概ね3年以上の職員		
主な内容	○タイムマネジメントとは何か（目的・意義）○自己の業務の課題・問題の本質への理解○段取り力を向上させる手法 等 講師 （株）日本マネジメント協会		

Ⅱ. 組織強化・労働環境整備研修

介護助手導入支援セミナー

研修時期／場所	2025年7月（予定） ふくし交流プラザ ※オンライン併用開催	受講料	無 料
研修の目的	人材確保が重要課題のなか、介護職員の業務を専門性が高い業務（身体介護）と補助的業務（配膳下膳・清掃・シーツ交換等）に再編成し、中高年者、主婦、学生等の多様な層を雇用して補助的業務を担う「介護助手」を導入する事例が増えています。福祉職場が業務切り出しと介護助手導入を進める意義や考え方を整理するとともに、導入にあたって施設・事業所へどのような助成（助成金や支援）があるか情報提供します。		
対象・受講要件	経営者、施設長、管理者、人事・労務・採用担当者、現場リーダー等		
主な内容	○介護助手導入の意義と考え方 ○介護助手導入の具体的な導入の方法及び先行事例 など		
問合せ先	総合人材センター（088-844-3511）		

外国人介護人材受入れセミナー

研修時期／場所	2025年9月（予定） ふくし交流プラザ	受講料	無 料
研修の目的	積極的に外国人介護人材の受入れを行っている県内外の施設・事業所の先駆的な受入れの事例や具体的なノウハウを共有してもらい、外国人材受入れの考え方や具体的な方法を学ぶ。		
対象・受講要件	経営者、施設長、管理者、人事・労務・採用担当者等		
主な内容	○外国人介護人材の受入れの実践について（講義・実践発表）		
問合せ先	総合人材センター（088-844-3511）		

ICT利活用研修

研修時期／場所	2026年1月ごろ予定 ふくし交流プラザ（オンライン併用）	受講料	無料
研修の目的	福祉専門職の身体的・精神的負担を軽減するとともに、福祉サービスの質を維持しながら効率的な業務運営を進めるためのICTの利活用について、その考え方と具体的な導入方法、活用方法を学ぶ。		
対象・受講要件	福祉施設・事業所の役職員		
主な内容	○ICTの利活用の考え方 ○ICTの導入方法 ○質疑応答 等		

SNSの活用セミナー

研修時期／場所	未定（半日型）・ふくし交流プラザ	受講料	3,000 円
研修の目的	SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）は、手軽なコミュニケーション手段として一般的になり、企業の情報発信ツールとしても広く利用されるようになりました。福祉・介護の分野でも求職者へのアピールや利用者のご家族、地域への情報発信として積極的に活用される事例も出てきています。 このセミナーでは、数あるSNSの中からinstagram（インスタグラム）とGoogle ビジネスプロフィールを取り上げ、福祉業界の認知拡大と情報発信力の強化、また使用する際のリスク管理などについて学びます。		
対象・受講要件	福祉施設・事業所の役職員、広報担当者		
主な内容	○instagram（インスタグラム）とGoogle ビジネスプロフィールの活用方法 等		

Ⅱ．組織強化・労働環境整備研修

福祉職場の働き方改革セミナー

研修時期／場所	2026年2月25日（水）（オンライン併用） ※録画したものを後日配信します。	受講料	3,000 円 (録画配信の視聴も同じ料金になります。)
研修の目的	職場の離職率を下げ、定着率を上げていくためには、働きやすい環境の整備が必要です。一方で国も「働き方改革」を掲げ、法制度の改革を進めています。このような中でより良い職場づくりのために、福祉職場はどのように対応していけばよいのか考える機会として開催します。		
対象・受講要件	福祉施設・事業所の役職員		
主な内容	○国の進める働き方改革 ○福祉職場での対応 ○質疑応答 等		

心理的安全性を高める研修

研修時期／場所	未定／ふくし交流プラザ	受講料	未定
研修の目的	職員の離職防止・定着には、安心して働きつつけられる職場づくりが大切である。そのひとつであるチームのメンバーが互いに意見や感想を気兼ねなく言える職場環境・雰囲気づくりについて学び、働きやすい職場とチームの力も高められる目指す。		
対象・受講要件	福祉施設・事業所の管理職、職員の指導及び育成にあたる指導的職員		
主な内容	○心理的安全性の必要性 ○心理的安全性を高めるための行動 等		

初めての Zoom 研修

研修時期／場所	未定 ふくし交流プラザ（オンライン併用）	受講料	1,000 円
研修の目的	オンライン研修を受けた事がない方、オンライン研修の受講を検討している方を対象に、オンライン研修で使われることの多い Zoom を使った研修の受講方法について学びます。		
対象・受講要件	福祉施設・事業所の職員		
主な内容	○Zoom を使った研修の受講方法 等		

問題発見力向上研修

研修時期／場所	未定／オンライン開催	受講料	未定
研修の目的	日々の業務で発生する問題を解決するため職員には問題解決力が求められるが、問題解決にあたっては、まず問題を発見する力が重要となり、問題を未然に防ぐことにも繋がる。問題発見に必要な視点を習得し問題発見力を高める。		
対象・受講要件	福祉施設・事業所の中堅職員等		
主な内容	○問題、問題発見力とは ○問題発見の視点 等		

分かりやすい説明のしかた研修

研修時期／場所	未定／オンライン開催	受講料	6,000 円
研修の目的	報告・連絡・相談や説明など、業務のなかでは相手に分かりやすく説明することが求められる。伝えたいことが相手に正しく伝わるために、話を整理し、簡潔で分かりやすい話ができるよう説明する力を高める。		
対象・受講要件	福祉施設・事業所の役職員		
主な内容	○伝えるポイント ○話の構造・話の展開 ○話す際の心構えとテクニック 等 講師 (株) インソース		

Ⅱ. 組織強化・労働環境整備研修

福祉人材確保支援セミナー

研修時期／場所	2026年1月（予定） ふくし交流プラザ	受講料	無 料
研修の目的	福祉・介護サービスに対する需要が増大していく一方で、労働力人口の減少など、福祉職場での人材確保が大きな課題となっている。そういった状況の中、職員の新規採用と職員の定着につなげていくための考え方や具体的な方法を学ぶ。		
対象・受講要件	経営者、施設長、管理者、人事・労務・採用担当者等		
主な内容	○人材の採用及び定着について（講義・演習）		
問合せ先	総合人材センター（０８８－８４４－３５１１）		

【職員育成推進研修】

福祉職場の人材育成担当者養成研修

研修時期／場所	2026年3月9日（月）～10日（火） ふくし交流プラザ	受講料	10,000 円
研修の目的	福祉人材の育成及び定着に向け、職場に求められる人材を計画的に育てていくための研修計画の策定及び職場研修の実施についての考え方や具体的な進め方を学ぶ。 ※職場のキャリアパス構築に必要な、研修計画策定の際に参考になる研修です。		
対象・受講要件	職員の指導及び育成にあたる職場研修担当者		
主な内容	○職場研修の考え方と進め方 ○キャリアパスの構築と研修体系 ○研修ニーズの分析と研修計画の策定 等		

Z世代の育て方研修

研修時期／場所	未定／オンライン開催	受講料	4,500 円
研修の目的	若手世代の考え方や行動に戸惑うことも少なくない。若手職員が育ってきた時代背景を知り、その影響を受けて形成された特徴を理解することで、適切で効果的な指導方法を身につける。		
対象・受講要件	福祉施設・事業所の管理職、職員の指導及び育成にあたる指導的職員		
主な内容	○Z世代の特徴を知る ○Z世代のタイプに合わせた育成方法 ○求められる指導者のあり方 など 講師（株）インソース		

年上部下への関わり方研修

研修時期／場所	未定／オンライン開催	受講料	未定
研修の目的	年上職員が部下となる場合もあるが、自身よりも人生経験の長い部下にどのように接するべきかを悩むことも少なくない。年上部下と良好な関係性を保ち、業務において役割を果たしてもらえよう、年上部下への関わり方を学ぶ。		
対象・受講要件	福祉施設・事業所の管理職、職員の指導及び育成にあたる指導的職員		
主な内容	○ベテラン世代の心境理解 ○ベテラン世代とのコミュニケーションの心構え等		

Ⅱ．組織強化・労働環境整備研修

ティーチング研修

研修時期／場所	2025年8月4日（月）10:00～16:00 ふくし交流プラザ	受講料	6,000 円
研修の目的	指導的職員やリーダーには、その役割の一つとして後輩・部下の指導育成が求められる。指導する側がその知識や技術を後輩・部下に正しく伝え教えるには、手順や伝え方が適切でなければ効果的な指導には繋がらない。後輩・部下に適切に教えるためのティーチングについて学び、指導的職員として後輩・部下を育てるスキルの向上を目指す。		
対象・受講要件	福祉施設・事業所の職員指導及び育成にあたる指導的職員		
主な内容	○指導の基本 ○ティーチングの理解 ○ティーチングスキル		

プリセプター（新人育成担当者）研修

研修時期／場所	2025年9月3日（水） ふくし交流プラザ	受講料	6,000 円
研修の目的	人材不足のなか新人職員に働きつけてもらえるよう、職員育成のためのOJT（業務を通じて知識・技術を教える育成方法）の基礎を学ぶとともに、育成にあたる職員の役割行動を習得する。		
対象・受講要件	福祉施設・事業所の職員の指導及び育成にあたる指導的職員（新人育成担当者）		
主な内容	○プリセプターの役割 ○OJTの基礎知識等		

コーチング研修

研修時期／場所	未定／ふくし交流プラザ	受講料	6,000 円
研修の目的	指導的職員やリーダーには、その役割の一つとして後輩・部下の指導育成が求められる。指導育成の場面では、ティーチングとコーチングを使い分けることが重要である。本研修では、職員自ら考え行動できる力を育てるために後輩・部下の考え方や熱意を引き出すコーチングについて学び、指導的職員として後輩・部下を育てるスキルの向上を目指す。		
対象・受講要件	福祉施設・事業所の職員指導及び育成にあたる指導的職員		
主な内容	○コーチングの考え方 ○コーチングの基本スキル		

スーパービジョン研修

研修時期／場所	未定／オンライン開催	受講料	6,000 円
研修の目的	社会福祉の専門性の一つであるスーパービジョン機能における支持的機能の発揮が難しいと悩む指導職・管理職は少なくない。本研修では、スーパービジョン3機能を学ぶとともに、個々の職員に対して援助的・支持的に関わる視点を学ぶ。		
対象・受講要件	福祉施設・事業所の管理職、職員の指導及び育成にあたる指導的職員		
主な内容	○スーパービジョンの3つの機能 ○コミュニケーションの基本 ○指摘・教育まで踏み込んだ指導方法 講師 （株）エイデル研究所		

Ⅱ. 組織強化・労働環境整備研修

仕事の任せ方研修

研修時期／場所	未定／オンライン開催	受講料	6,000 円
研修の目的	部下や後輩がいる人にとって、「どの業務」を「誰に任せるか」を考えることは、組織で働くうえで逃れることはできません。組織の視点で考えると、誰か特定の人でなければできない仕事が多いことは、組織にとってもリスクのあることです。また、仕事を任せることはできていても「思うように部下が成長しない」と感じている方もいるのではないでしょうか。いずれの場合でも、仕事を任せる前段階での準備が必要です。本研修では、効果的に仕事を任せるためのポイントを学びます。		
対象・受講要件	福祉施設・事業所の中堅以上の職員		
主な内容	○仕事を任せることのメリット ○任せる仕事の見極めのポイント ○やる気になる任せ方のポイント 講師 株式会社インソース		

記録の書き方研修

研修時期／場所	2025年7月18日（金） オンライン開催	受講料	6,000 円
	※全1回		
研修の目的	記録がどう書かれるかは、記録者、援助者が利用者をどのように捉えているかが反映されるものでもある。本研修では、記録とは何か、なぜ記録を書くのか、その理由や意義を確認し、記録が果たす役割について福祉サービスの特性から考える。また、記録記入の留意点を確認する。		
対象・受講要件	福祉施設・事業所の中堅職員、職員指導・育成にあたる指導的職員		
主な内容	○記録が果たす役割 ○記録記入の留意点 ○指導時のポイント ※介護、障害系サービスを対象とする内容です。 講師 （株）エイデル研究所		

Ⅲ. コミュニケーション研修

コミュニケーション基礎研修

研修時期／場所	2025 年 8 月 28 日 (木) 11 月 5 日 (水) ふくし交流プラザ ※同内容を2回開催	受講料	5,000 円
研修の目的	福祉施設・事業所の職員は、対人援助者としてあらゆる場面でコミュニケーションが求められる。本研修では、利用者・家族等と信頼関係を築くとともに利用者一人ひとりの思いやニーズに沿った支援をするために重要となる対人援助者としてのコミュニケーションの基本を身につける。		
対象・受講要件	福祉施設・事業所の職員		
主な内容	○利用者理解と関係づくり ○コミュニケーションの実際 等（予定）		

アサーティブコミュニケーション研修

研修時期／場所	未定／ふくし交流プラザ	受講料	6,000 円
研修の目的	職員間で円滑なコミュニケーションを図っていくために、相手の意図をくみ取り、自分の伝えたいことをスムーズに伝えるアサーティブコミュニケーションの考え方とスキルを学ぶ。		
対象・受講要件	福祉職場経験年数概ね3年以上の者		
主な内容	○アサーティブコミュニケーションとは ○コミュニケーションにおける心構え ○自分のコミュニケーションの傾向を振り返る ○伝え方の手順とコツを学ぶ 講師 Office C Career 平野智佐 氏		

ファシリテーション研修

研修時期／場所	未定／ふくし交流プラザ	受講料	6,000 円
研修の目的	職員会や委員会などの会議やミーティングを効果的に進めるために、参加者の発言を促し、協議内容を整理して活性化させるファシリテーションの考え方とスキルを学ぶ。		
対象・受講要件	福祉職場経験年数概ね3年以上の者		
主な内容	○ファシリテーションの目的、心構え ○会議やミーティングの進め方の課題 ○ファシリテーターに必要なスキル（場のデザイン、対人関係、構造化、合意形成） 講師 (株) インソース		

アンガーマネジメント研修

研修時期／場所	未定（半日型を2回、トレーニング講座を1回開催） ふくし交流プラザ	受講料	5,000 円
研修の目的	怒りを生み出す原因とメカニズムを知り、福祉職場において利用者との関係や職員同士のストレスを軽減し、働きやすい職場づくりを進めるため、アンガーマネジメントの考え方とスキルを学ぶ。トレーニング講座では、実践的なトレーニング方法を学ぶとともに、自分の怒りのタイプを診断し自己理解を深める。		
対象・受講要件	福祉施設・事業所等の職員		
主な内容	○アンガーマネジメントの基礎理論 ○突然の怒りに対処する技術（トレーニング講座） ○3つのコントロール ○怒りの耐性を高くする技術（トレーニング講座） ○職場で役立つ叱り方・伝え方 講師 Office C Career 平野智佐 氏		

対人関係能力スキルアップ研修

研修時期／場所	2025年9月22日（月） ふくし交流プラザ	受講料	6,000 円
研修の目的	仕事をするうえでよりよい人間関係とチームワークは重要である。本研修では、自身のパーソナリティや認知、コミュニケーション、「報告・連絡・相談」等の意識や傾向について改めて見直し、今後のよりよい人間関係構築とチームワークの充実につなげていくためのコミュニケーションスキルの向上を目指す。		
対象・受講要件	福祉施設・事業所の中堅以上の職員		
主な内容	○パーソナリティの自己認知 ○効果的なコミュニケーションスキル ○ハウレンソウの自己確認 ○チームワークを高めるポイント 講師 (株) エイデル研究所		

IV. ケア研修

ケアテーマ別研修 ①権利擁護

研修期間／場所	2025年 6月30日（月）Zoomのみ 7月22日（火）集合のみ 10月 6日（月）集合のみ 2026年 2月10日（火）Zoomのみ ※全4回、各回の内容は同じです。（1日研修）	受講料	4,500 円
対象・受講要件	福祉施設・事業所等の職員		
主な内容	○尊厳の保持と自立支援 ○不適切ケア及び虐待の防止 等		

ケアテーマ別研修 ②医療職との連携

研修時期／場所	2025年9月16日（火） 他2回調整中 会場での集合と Zoom の併用 ※同内容を3回（1日）	受講料	4,500 円
対象・受講要件	福祉施設・事業所等の職員		
主な内容	○医療知識の基礎 ○高齢者に多い疾患 ○医療との連携 等		

ケアテーマ別研修 ③介護技術講義

研修時期／場所	2025年7月3日（木） 会場での集合と Zoom の併用 ※座学 1 回（半日研修）	受講料	3,000 円
対象・受講要件	福祉施設・事業所等の職員		
主な内容	高齢者や障害者介護の基本 ○心構え ○身体 の使い方 ○介護技術（姿勢管理、体位変換、起上り、移動・移乗）等の介護技術		

ケアテーマ別研修 ④介護技術実践

研修時期／場所	2025年 6月17日（火） 9月30日（火） 11月14日（金） 12月16日（火） ふくし交流プラザにて集合のみ ※全4回、各回の内容は同じです。（1日研修）	受講料	5,000 円
対象・受講要件	福祉施設・事業所等の職員		
主な内容	高齢者や障害者介護の基本 ○心構え ○身体 の使い方 ○介護技術（姿勢管理、体位変換、起上り、移動・移乗）等の介護技術		

Ⅳ. ケア研修

ケアテーマ別研修 ⑤アセスメント

研修時期／場所	2025年7月10日（木） 8月21日（木） 9月25日（木） 集合とZoomの併用 ※全3回、各回の内容は同じです。（1日研修）	受講料	4,500 円
対象・受講要件	福祉施設・事業所等の職員		
主な内容	○その人らしい生活を支えるケアプラン ○アセスメントの基本的な考え方と支援のあり方 等		

ケアテーマ別研修 ⑥感染症予防基礎研修

研修時期／場所	2025年 6月23日（月）集合・Zoom 併用 8月12日（火）集合のみ 10月 1日（水）集合のみ 12月 8日（月）集合・Zoom 併用 ※全4回、各回の内容は同じです。（半日研修）	受講料	3,000 円（併用） 3,500 円（集合のみ）
対象・受講要件	福祉施設・事業所等の職員		
主な内容	○感染予防の基本 ○感染防止の実践の習得 等		

ケアテーマ別研修 ⑦リスクマネジメント

研修時期／場所	2025年 9月19日（金） 11月10日（月） 12月12日（金） 集合とZoomの併用 ※全3回、各回の内容は同じです。（半日研修）	受講料	3,000 円
対象・受講要件	福祉施設・事業所等の職員		
主な内容	○リスクマネジメントの基本 ○予防するための能力の向上 ○事故後の適切な対応 等		

ケアテーマ別研修 ⑧苦情の理解と対応

研修時期／場所	2025年 9月19日（金） 11月10日（月） 12月12日（金） 集合とZoomの併用 ※全3回、各回の内容は同じです。（半日研修）	受講料	3,000 円
対象・受講要件	福祉施設・事業所等の職員		
主な内容	○苦情発生の要因 ○苦情対応の基本 等		

IV. ケア研修

ケアテーマ別研修 ⑨介護者が受けるハラスメント

研修時期／場所	2025年 8月18日(月) 10月20日(月) 11月26日(水) 集合と Zoom の併用 ※全3回、各回の内容は同じです。(半日研修)	受講料	無 料
対象・受講要件	介護事業者(事業主・管理者)、介護職員等		
主な内容	○介護現場における利用者や家族等によるハラスメントの実態 ○事業者として取り組むべき対策 等		

ケアテーマ別研修 ⑩接遇研修

研修時期／場所	2025年 8月18日(月) 10月20日(月) 11月26日(水) 会場での集合と Zoom の併用 ※同内容を3回(半日)	受講料	3,000 円
対象・受講要件	福祉施設・事業所等の職員		
主な内容	○介護現場での接遇マナー ○介護従事者としての心構え 等		

ケアテーマ別研修 ⑪メンバーシップ基礎研修

研修時期／場所	未定／ふくし交流プラザ 会場での集合または Zoom ※同内容を2回(半日)	受講料	3,000 円
対象・受講要件	福祉施設・事業所等の職員		
主な内容	○「チームアプローチ」について ○効果や連携の重要性 等		

ケアテーマ別研修 ⑫メンバーシップリーダー研修

研修時期／場所	未定／ふくし交流プラザ オンラインのみ ※1回(半日)	受講料	3,000 円
対象・受講要件	福祉施設・事業所等の職員		
主な内容	○「メンバーシップ」型チーム運営 ○考え方や組織での展開に向けた基本知識 等		

Ⅳ. ケア研修

ケアテーマ別研修 ⑬レクリエーション研修

研修時期／場所	2025年 7月 7日(月) 9月 8日(月) 10月21日(火) 集合とZoomの併用 ※全3回、各回の内容は同じです。(半日研修)	受講料	3,000 円
対象・受講要件	福祉施設・事業所等の職員		
主な内容	○レクリエーションの意義及び利用者への効果 ○具体的なレクリエーション技法 ○レクリエーションを実施する際の留意点 等		

ケアテーマ別研修 ⑭急変への気づきと対応

研修時期／場所	2025年 6月 9日(月) 10月17日(金) 2026年 3月 9日(月) 集合とZoomの併用 ※全3回、各回の内容は同じです。(半日研修)	受講料	4,000 円
対象・受講要件	福祉施設・事業所等の職員		
主な内容	○ご利用者の体調の変化や、急変時の観察の仕方 ○急変対応マネジメントについて		

ケアテーマ別研修 ⑮服薬管理

研修時期／場所	2025年9月2日(火) 会場での集合とZoomの併用 ※1回(半日)	受講料	3,000 円
対象・受講要件	福祉施設・事業所等の職員		
主な内容	○薬の基礎知識 ○介護職と薬の安全 ○現場での実際		

ケアテーマ別研修 ⑯高齢者の心と体

研修時期／場所	2025年8月26日(火) 会場での集合とZoomの併用 ※1回(半日)	受講料	3,000 円
対象・受講要件	福祉施設・事業所等の職員		
主な内容	○高齢者の心身の特徴の理解や対応など		

IV. ケア研修

ソーシャルワーク基礎研修			
研修時期／場所	未定（6 時間程度） ふくし交流プラザ	受講料	4,000 円
研修の目的	福祉職場で相談援助を行っている職員を対象に、相談援助の基本的理解を促進するとともに、コミュニケーションスキルを学ぶ。		
対象・受講要件	福祉職場の相談援助職		
主な内容	○ソーシャルワークの価値及び視点 ○バイスティックの原則 等		

ソーシャルワーク応用研修			
研修時期／場所	未定（4 時間程度） ふくし交流プラザ	受講料	3,000 円
研修の目的	福祉職場で相談援助を行っている職員を対象に、面接場面におけるアセスメントや、信頼関係の構築について学ぶ。		
対象・受講要件	福祉職場の相談援助職		
主な内容	○利用者の生活の包括的理解 ○ストレングスとエンパワメントを促進する支援 等		

Ⅳ. ケア研修

福祉職員基礎講座

福祉職場には、中途採用の職員も多くいますが、そのような方々に、今一度福祉の仕事に関わる基礎的な知識を学ぶ機会を提供するために、福祉職員基礎講座を開催します。

会場まで出向く時間もなかなか確保するのが難しい方も、動画配信で視聴することができます。どうぞご活用ください。

福祉職員基礎講座①介護保険サービス

研修時期／場所	7月～8月頃予定 ふくし交流プラザ（オンライン併用） ※録画したものを後日配信します。	受講料	2,000 円 (録画配信の視聴も同じ料金になります。)
研修の目的	介護保険サービスは、介護保険制度によって提供されています。その制度についての基礎的な知識を修得するために開催します。		
対象・受講要件	介護保険サービスの根拠と仕組みについての基礎知識を学びたい福祉職場の職員		
主な内容	○介護保険導入の背景 ○介護保険の目的 ○介護保険のしくみ ○介護保険制度を取り巻く状況 ○質疑応答 等		

福祉職員基礎講座②障害福祉サービス

研修時期／場所	7月～8月頃予定 ふくし交流プラザ（オンライン併用） ※録画したものを後日配信します。	受講料	2,000 円 (録画配信の視聴も同じ料金になります。)
研修の目的	障害福祉サービスは、障害者自立支援法をもとに提供されています。その制度についての基礎的な知識を修得するために開催します。		
対象・受講要件	障害福祉サービスの根拠と仕組みについての基礎知識を学びたい福祉職場の職員		
主な内容	○「障害」のとらえ方 ○障害者福祉の理念 ○障害者福祉の主な法律 ○障害福祉サービス ○質疑応答 等		

福祉職員基礎講座③心理の基礎知識

研修時期／場所	9月～11月頃予定 ふくし交流プラザ（オンライン併用） ※録画したものを後日配信します。	受講料	2,000 円 (録画配信の視聴も同じ料金になります。)
研修の目的	福祉の現場で働く職員のほとんどは、対人援助職であり、そのサービスを提供する対象は、心理的な課題や葛藤を抱えていることも少なくありません。現場での人へのかかわり方を考える際に必要な、知識の習得ために開催します。		
対象・受講要件	福祉職場の職員		
主な内容	○ストレスについて学ぶ ○ストレスの対処方法（コーピング） ○ニーズのとらえ方 ○質疑応答 等		

IV. ケア研修

福祉職員基礎講座④依存の理解と対応

研修時期／場所	9月～11月頃予定 ふくし交流プラザ（オンライン併用） ※録画したものを後日配信します。	受講料	2,000 円 (録画配信の視聴も同じ料金になります。)
研修の目的	アルコール依存、薬物依存、ギャンブル依存。これらは代表的な依存の例ですが、依存はこれに限らず様々な形で対人援助の場面に現れます。福祉の現場で必要な依存の基礎知識について学びます。		
対象・受講要件	福祉職場の職員		
主な内容	○依存とは ○対人援助の場面で留意すべきこと ○質疑応答 等		

福祉職員基礎講座⑤発達障害の基礎知識

研修時期／場所	9月～11月頃予定 ふくし交流プラザ（オンライン併用） ※録画したものを後日配信します。	受講料	2,000 円 (録画配信の視聴も同じ料金になります。)
研修の目的	発達障害という言葉が近年一般的に知られるようになりました。しかし、正確な理解が普及しているとは必ずしも言えない状況です。対人援助職として、発達障害についての基礎的な知識を学びます。		
対象・受講要件	福祉職場の職員		
主な内容	○発達障害の分類 ○特性の理解や対応 ○コミュニケーション ○質疑応答 等		

V. 虐待防止・権利擁護研修

高齢者分野	障害者分野
【施設長・虐待防止担当者対象】1回 虐待防止を目的として、組織全体で権利擁護の取組を進めるために必要な組織づくりの方法を学ぶ。	【施設長・虐待防止マネージャー対象】1回 虐待防止を目的として、組織全体で権利擁護の取組を進めるために必要な組織づくりの方法を学ぶ。
【中堅・リーダー等対象】各1回 （在宅事業所向け） 高齢者の権利擁護と、養護者虐待の防止や早期発見、行政との連携について学ぶ。	【虐待防止マネージャー対象】1回 障害児者の権利擁護と、自組織で虐待防止・権利擁護の取組を進めるための手法について学ぶ。
（養介護施設・事業所向け） 高齢者の権利擁護と、施設・事業所内での虐待防止や権利擁護の視点・取組を学ぶ。	【中堅・リーダー等対象】1回 障害児者の権利擁護と、虐待防止について学ぶ。
【高齢者・障害者共通 初任者対象】（※） ケアテーマ別研修 ①権利擁護（P.14） 尊厳の保持と自立支援、不適切ケア及び虐待の防止について基本的な視点を学ぶ。	

高齢者 虐待防止・権利擁護研修（階層別）

研修時期／場所	①施設長・虐待防止担当者対象：8月頃 ②在宅事業所従事者対象：7月頃 ③養介護施設・事業所従事者対象：9月～10月頃 ※会場または会場・オンライン（併用）開催予定	受講料	2,000 円
研修の目的	高齢者の権利擁護や虐待防止について理解を深めるとともに、施設・事業所での虐待防止に向けて階層ごとに役割や施設での取組について学ぶ。		
対象・受講要件 主な内容	①管理者・施設長、虐待防止担当者 権利擁護の取組を進めるために必要な組織づくり、虐待防止委員会の取組 等 ②在宅事業所等のリーダー、中堅職員、市町村職員等 養護者虐待の防止や早期発見、行政との連携 等 ③養介護施設・事業所等のリーダー、中堅職員等 施設・事業所内での虐待防止や権利擁護の視点、取組 等		
問合せ先	権利擁護センター（088-850-7770）		

障害者 虐待防止・権利擁護研修（階層別）

研修時期／場所	①施設長・虐待防止マネージャー対象：7月7日（月） ②虐待防止マネージャー対象：10月～11月頃 ③従事者対象：8月14日（木）PM または 8月15日（金）AM（同じ内容） ※会場または会場・オンライン（併用）開催予定	受講料	2,000 円
研修の目的	障害児者の権利擁護や虐待防止について理解を深めるとともに、施設・事業所での虐待防止に向けて階層ごとに役割や施設での取組について学ぶ。		
対象・受講要件 主な内容	①管理者・施設長、虐待防止マネージャー（国研伝達研修） 権利擁護の取組を進めるために必要な組織づくり、虐待防止委員会の取組 等 ②虐待防止マネージャー 施設・事業所内での虐待防止や権利擁護の視点、虐待防止委員会の取組 等 ③従事者（リーダー、中堅職員等） 施設・事業所内での虐待防止や権利擁護の視点、取組 等		
問合せ先	権利擁護センター（088-850-7770）		

V. 虐待防止・権利擁護研修

高齢者・障害者虐待防止行政職員研修

研修時期／場所	高齢分野：①事業説明会5月16日（金）②基礎研修6～7月頃 ③フォローアップ研修12月頃 障害分野：①事業説明会4月23日（水） ②基礎研修（国研伝達研修）6月12日（木） ③フォローアップ研修12月～2月頃 ※会場または会場・オンライン（併用）開催予定	受講料	無 料
研修の目的	市町村において、高齢者及び障害者の虐待相談の初動対応～終結に至るまで、権利擁護の取り組みを進めるためにどのようなことをすれば良いかを考える。		
対象・受講要件	市町村職員 等		
主な内容	○高齢者・障害者虐待の現状と虐待防止法 ○虐待対応における行政の役割とプロセス 等		
問合せ先	権利擁護センター（０８８－８５０－７７７０）		

権利擁護支援・成年後見制度研修

研修時期／場所	未定	受講料	無 料
研修の目的	地域共生社会の実現に向けて地域での権利擁護支援体制づくりが進む中、権利擁護支援や成年後見制度について、広く周知・啓発をはかる。		
対象・受講要件	一般県民、福祉施設・事業所、市町村、市町村社会福祉協議会の職員、その他権利擁護支援に関心のある方		
主な内容	○権利擁護支援のいま ○成年後見制度等の権利擁護を取り巻く仕組み ○権利擁護支援が必要な人を地域で支えるために 等		
問合せ先	権利擁護センター（０８８－８５０－７７７０）		

法人後見担当者フォローアップ研修

研修時期／場所	未定	受講料	未 定
研修の目的	法人後見実施団体へのフォローアップ		
対象・受講要件	法人後見を実施している社会福祉協議会職員		
主な内容	○後見人業務の実際 ○法人後見の取組について ○意思決定支援について 等		
問合せ先	権利擁護センター（０８８－８５０－７７７０）		

VI. 認知症介護研修

認知症介護実践研修「実践者研修」

研修時期	2025年6月～2026年3月／年間4回開催 ふくし交流プラザ	受講料	8,000 円
研修の目的	施設・在宅に関わらず認知症の原因疾患や容態に応じ、本人やその家族の生活の質の向上を図る対応や技術を習得する事を研修の目的とする。		
対象	次の要件をすべて満たす者とする。 ※認知症についての基礎知識を学ぶ研修ではありません。 (1) 県内の介護保険施設・事業所等に従事する介護職員等 (2) 認知症介護の基本的な知識を有する者（介護福祉士の知識またはそれと同程度） (3) 高齢者介護実務経験が最低2年以上の者		
主な内容	講義・演習（4日間）、自施設実習（アセスメントとケアの実践／4週間）実習報告（半日）		

認知症介護実践研修「実践リーダー研修」

研修時期	2025年8月～2026年2月／年間1回開催 ふくし交流プラザ	受講料	25,000 円
研修の目的	ケアチームにおける指導的立場として、実践者の知識・技術・態度を指導する能力及び実践リーダーとしてのチームマネジメント能力を修得する。		
対象	受講要件 (1) 介護保険施設・事業所において、介護業務におおむね5年以上従事した経験を有する者で、実践者研修を令和5年度以前に修了している者 (2) 継続した研修（フォローアップ研修など）に積極的に参加できる者 (3) 県が主催する認知症介護に関する各種研修や、地域支援活動に積極的に協力できる者 ※(1)に要件にあてはまらない者で、サービスを利用者に直接提供する介護職員として、介護福祉士資格を取得した日から起算して10年以上、かつ1,800日以上の実務経験を有する者あるいはそれと同等以上の能力を有すると認められる者については、受講対象となります。		
主な内容	講義・演習（5日間） 自施設実習①（18日間）、自施設実習②（3か月）、実習報告（半日間） 予定		

認知症介護実践研修「実践リーダー研修」フォローアップ研修

研修時期	未定 ふくし交流プラザ	受講料	無料（予定）
研修の目的	認知症介護実践研修「実践リーダー研修」修了者には現場の指導に役立ててもらうことを、認知症介護研修指導者には指導の一助としてもらうことを目的とする。		
対象	高知県認知症介護実践研修「実践リーダー研修」修了者 高知県痴呆介護実務者研修「専門課程」修了者、認知症介護研修指導者		
主な内容	講義・演習・実践報告等		

VI. 認知症介護研修

認知症対応型サービス事業開設者研修

研修時期	2025年9月、2026年1月、3月／年間3回開催 ふくし交流プラザ	受講料	5,000 円
研修の目的	認知症対応型サービス事業者（指定小規模多機能型居宅介護事業者、指定認知症対応型共同生活介護事業者、指定看護小規模多機能型居宅介護事業者など）の代表者となる者が、これらの事業所を運営していく上で必要な知識を身につけることにより、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図る。		
対象	認知症対応型サービス事業者（指定小規模多機能型居宅介護事業者、指定認知症対応型共同生活介護事業者、指定看護小規模多機能型居宅介護事業者など）の代表者または、代表者になることが予定される者 ※下記の研修を修了している者は、既に必要な研修を修了しているものとみなし、受講を要しない。 ・実践者研修又は実践リーダー研修・痴呆介護実務者研修「基礎課程」又は「専門課程」 ・認知症介護指導者養成研修・痴呆性老人処遇技術研修		
主な内容	◆講義・演習（1日：ふくし交流プラザ）及び現場体験（1日）		

認知症対応型サービス事業管理者研修

研修時期	2025年9月、2026年1月、3月／年間3回開催 ふくし交流プラザ	受講料	3,000 円
研修の目的	認知症対応型サービス事業所（指定認知症対応型共同生活介護、指定小規模多機能型居宅介護支援事業所、指定認知症対応型通所介護、指定看護小規模多機能型居宅介護事業所など）の管理者となる者が、これらの事業所を管理・運営していく上で必要な知識・技術を身につけることにより、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図る。		
対象	1. 認知症対応型サービス事業所（指定認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護事業所、認知症対応型通所介護、看護小規模多機能型居宅介護事業所など）の管理者又は管理者になることが予定されている者。 2. 実践者研修（痴呆介護実務者研修基礎課程及び痴呆性老人処遇技術研修を含む）を修了している者。		
主な内容	◆講義・演習（2日間）		

小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修

研修時期	2025年9月、2026年1月、3月／年間3回開催 ふくし交流プラザ	受講料	3,000 円
研修の目的	小規模多機能型サービス事業所（指定小規模多機能型居宅介護事業所、指定看護小規模多機能型居宅介護事業所など）の計画作成担当者となる者が、利用登録者に関する居宅介護支援計画や指定小規模多機能型居宅介護事業所における小規模多機能型居宅介護計画を適切に作成する上で必要な知識・技術を身につけることにより、認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図る。		
対象	1. 小規模多機能型サービス事業所（指定小規模多機能型居宅介護事業所、指定看護小規模多機能型居宅介護事業所など）の計画作成担当者又は計画作成担当者になることが予定される者。 2. 実践者研修（痴呆介護実務者研修基礎課程及び痴呆性老人処遇技術研修を含む）を修了している者。		
主な内容	◆講義・演習（2日間）		

問合せ先	高知県子ども・福祉政策部 長寿社会課（088-823-9762） 高知県福祉研修センター（088-844-3605）
------	---

Ⅶ. 介護支援専門員研修

介護支援専門員（ケアマネジャー）の資格取得、資格更新のための研修です。

介護支援専門員 実務研修			
研修時期／場所	2025年12月頃～2026年3月頃（予定） ふくし交流プラザ（予定）	受講料	49,000 円
研修の目的	介護支援専門員として必要な知識・技能を有する介護支援専門員を養成する		
対象・受講要件	介護支援専門員実務研修受講試験に合格した方		
主な内容	○ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術 ○自立支援のためのケアマネジメントの基本 等 ※前期8日間、後期6日間、全14日間の研修日程（予定）です。 また、前期と後期の間に2つの実習があります。		

介護支援専門員 更新（専門）研修【研修課程Ⅰ】			
研修時期／場所	2025年6月頃～7月頃（予定） ふくし交流プラザ（予定）	受講料	29,000 円
研修の目的	更新研修：介護支援専門員証の有効期間を更新する 専門研修：一定の実務についての介護支援専門員の資質を向上させる		
対象・受講要件	（１）専門員証の有効期限が概ね1年以内に満了する方で、介護支援専門員証有効期間中に、介護支援専門員として実務に従事している方（又は従事していた経験を有する方）。 （２）介護支援専門員の実務に従事している方で、 <u>従事期間が6ヶ月以上</u> の方。 ※（１）に該当の方は更新研修、（１）以外の（２）に該当の方は専門研修となります。		
主な内容	○ケアマネジメントにおける実践の振り返りと課題の設定 ○ケアマネジメントの演習 等 ※全8日間の研修日程（予定）です。更新研修と専門研修の同時開催の予定です。		

介護支援専門員 更新（専門）研修【研修課程Ⅱ】			
研修時期／場所	2025年7月頃～8月頃（予定） ふくし交流プラザ（予定）	受講料	23,000 円
研修の目的	更新研修：介護支援専門員証の有効期間を更新するための研修 専門研修：一定の実務についての介護支援専門員の資質を向上するための研修		
対象・受講要件	（１）専門員証の有効期限が概ね1年以内に満了する方で、介護支援専門員証有効期間中に、介護支援専門員として実務に従事している方（又は従事していた経験を有する方）。 （２）介護支援専門員として実務に従事している方で、 <u>従事期間が3年以上</u> の方。 ※いずれも研修課程Ⅰを修了していることが必要 ※（１）に該当の方は更新研修、（１）以外の（２）に該当の方は専門研修となります。		
主な内容	○介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開 ○ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表 等 ※全5日間の研修日程（予定）です。更新研修と専門研修の同時開催の予定です。		

※更新のために必要な研修（実務に従事している方の場合）

（１）介護支援専門員証の更新が初回の方、及び2回目以降の更新の方で前回の更新時に受けた研修が実務未経験者対象の更新研修の方、又は再研修の修了をもって専門員証の交付を受けた方

⇒ 更新（専門）研修【研修課程Ⅰ】 + 更新（専門）研修【研修課程Ⅱ】

（２）介護支援専門員証の更新が2回目以降の更新の方で、前回の更新時に受けた研修が実務経験者に対する更新研修の方（研修課程Ⅰの受講が免除）

⇒ 更新（専門）研修【研修課程Ⅱ】

VII. 介護支援専門員研修

介護支援専門員（ケアマネジャー）の資格取得、資格更新のための研修です。

介護支援専門員更新研修（実務未経験者）・再研修			
研修時期／場所	①2025年10月頃～12月頃（予定） ②2025年12月頃～2026年3月頃（予定） ふくし交流プラザ（予定）	受講料	30,000 円
研修の目的	更新研修：介護支援専門員証の有効期間を更新するための研修 再研修：介護支援専門員証を失効している方等が、再度、専門員証の交付を受けるための研修		
対象・受講要件	（１）介護支援専門員証有効期間中に、介護支援専門員の実務に従事していない方で、専門員証の有効期限が、概ね１年以内に満了する方。 （２）介護支援専門員の有効期間を更新せず失効している方、またはこの研修の修了日までに執行する方で、新たに専門員証の交付を受けようとする方。等 ※（１）に該当の方は更新研修、（２）に該当の方は再研修となります。		
主な内容	○自立支援のためのケアマネジメントの基本 ○ケアマネジメントの展開 等 ※全８日間の研修日程（予定）です。（２回目は実務研修と同時開催のため 10 日間）		

問合せ先	【研修に関すること】高知県福祉研修センター（088-844-3605） 【登録・受講履歴に関すること】高知県長寿社会課（088-823-9681）
------	--

主任介護支援専門員研修	
開催時期	年 1 回
対象	介護支援専門員
内容	介護保険サービスや他の保健・医療・福祉サービスを提供する方との連携調整、他の介護支援専門員に対する助言・指導などケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技術を修得するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた地域づくりを実践できる主任介護支援専門員の養成を図ることを目的としています。
問合せ先	高知県長寿社会課（088-823-9681）

主任介護支援専門員更新研修	
開催時期	年 1 回
対象	主任介護支援専門員
内容	主任介護支援専門員研修と同様の目的で実施。専門職として修得すべき知識、技術を確認する。
問合せ先	高知県長寿社会課（088-823-9681）

Ⅷ. 相談支援従事者等研修

相談支援従事者「初任者」研修			
研修時期／場所	2025年6月以降で日程調整中（7日間） ふくし交流プラザ	受講料	講義 3,000 円 演習 7,000 円
研修の目的	相談支援事業の相談支援業務に従事するために必要な事項について学ぶことにより、相談支援を提供する「相談支援専門員」を育成し、相談支援の質の向上を図る。		
対象・受講要件	下記のいずれかに該当し、一定の実務経験を満たす方。 1) 相談支援事業所において相談支援専門員として従事する予定がある方 2) 市町村において障害者相談支援業務に従事している方もしくは従事する予定の方 3) 令和7年度サービス管理責任者等基礎研修を受講する方（講義のみ受講可） 4) 受講申込書の内容を勘案し、県が必要と認める方		
主な内容	【講義】 ○相談支援の目的 ○相談支援の基本的視点 ○相談支援に必要な技術 ○相談支援におけるケアマネジメント手法とプロセス ○相談支援における家庭支援と地域資源の活用への視点 ○障害者総合支援法等の概要並びにサービス提供のプロセス 等 【演習】 ○ケアマネジメントプロセスに関する演習（一部講義含む） ○実践研究 事例の共有と相互評価、サービス等利用計画の作成 等 【実習（演習期間中に実施）】 ○相談支援（ケアマネジメント）の基礎技術に関する実習 等		

相談支援従事者「現任」研修			
研修時期／場所	2025年6月以降で日程調整中（4日間） ふくし交流プラザ	受講料	10,000 円
研修の目的	相談支援業務に従事している者に対し、困難事例等に対する支援方法についての助言、日常の相談支援業務の検証を行うことにより、資質の向上を図る。		
対象・受講要件	指定相談支援事業所等において相談支援業務に従事しており、一定の経験を有している方。 ※相談支援専門員として従事するためには、初任者研修を修了した翌年度から5年間に1回以上、本研修の受講が必要となります		
主な内容	【講義（第1日目）】 ○障害福祉の動向に関する講義 ○相談支援の基本姿勢及びケアマネジメントの展開に関する講義 ○人材育成の手法に関する講義 【演習（第2～4日目）】（一部講義含む） ○個別相談支援とケアマネジメント ○相談援助に求められるチームアプローチ（多職種連携） ○地域をつくる相談支援（コミュニティワーク）の実践		

問合せ先	【相談支援従事者研修の全般に関すること】 高知県子ども・福祉政策部障害福祉課（088-823-9634） 【研修の運営等に関すること】 高知県福祉研修センター（088-844-3605）
------	--

VIII. 相談支援従事者等研修

サービス管理責任者等基礎研修			
研修時期／場所	2025年5～8月頃（計3日の研修を3回開催） ふくし交流プラザ・オンライン	受講料	3,000 円
研修の目的	サービスの質の確保に関する基礎的な知識及び技術を有するサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者（以下「サービス管理責任者等」という。）の養成を図る。		
対象・受講要件	下記の（１）及び（２）の条件を満たす方 （１）（演習の最終日まで）サービス管理責任者等の要件である実務経験を満たす方 （２）相談支援従事者「初任者」研修の１日目及び２日目講義を受講している方 等		
主な内容 （一部変更になる 場合があります。）	○サービス管理責任者等の基本姿勢とサービス提供のプロセスに関する講義 ○サービス提供プロセスの管理に関する演習 等		

サービス管理責任者等実践研修			
研修時期／場所	2025年10月～2026年1月頃 （計2日の研修を3回開催）／ふくし交流プラザ	受講料	3,000 円
研修の目的	サービスの質の確保に関する実践的な知識及び技術を有するサービス管理責任者等の養成を図る。		
対象・受講要件	サービス管理責任者等基礎研修修了者のうち、下記の（１）または（２）の条件を満たす方 （１）直近5年以内に2年以上の実務経験がある方 （２）一定の要件を満たしたうえでOJT期間が6月以上ある方		
主な内容 （一部変更になる 場合があります）	○サービスの提供に関する講義・演習 ○人材育成の手法に関する講義・演習 ○多職種及び地域連携に関する講義・演習 等		

サービス管理責任者等更新研修			
研修時期／場所	2025年12月～2026年2月頃 （計2日の研修を2回開催）／ふくし交流プラザ	受講料	10,000 円
研修の目的	サービス管理責任者等の質の確保に関する知識、技術の維持及び向上を図る。		
対象・受講要件	実践研修修了者または2回目以降の更新研修受講を希望する者で下記の（１）または（２）の条件を満たす方 （１）直近の研修修了後5年間のうちに2年以上実務経験等を満たす方 （２）サービス管理責任者等、管理者または相談支援専門員として現に従事している方 ※サービス管理責任者等として従事するためには、実践研修または更新研修を修了した翌年度から5年間のうちに、本研修の受講が必要となります		
主な内容 （一部変更になる 場合があります）	○障害福祉等の動向に関する講義 ○サービス提供の自己検証に関する演習 ○サービスの質の向上と人材育成のためのスーパービジョンに関する講義・演習 等		

問合せ先	【サービス管理責任者等研修の全般に関すること】 高知県子ども・福祉政策部障害福祉課（０８８－８２３－９６３５） 【研修の運営等に関すること】 高知県福祉研修センター（０８８－８４４－３６０５）
------	--

IX. 経営実務研修

社会福祉会計簿記講座

研修時期／場所	入門：2025年7月16日（1日間） 3級：2025年8月19～20日（2日間） 2級：2025年9月17～18日（2日間） 1級：2025年10月21～22日（2日間） 経営管理：2025年11月11～12日（2日間） ふくし交流プラザ	受講料	1講座 8,000 円程度 ＊テキスト代別
研修の目的	社会福祉法人の会計処理に必要な知識と技能を習得する。		
対象	社会福祉法人の経営者、運営管理職、会計担当者等		
主な内容	入門：資金収支計算書・事業活動計算書・貸借対照表の見方と理解 等 3級：財務三表の理解、仕訳と転記、減価償却、基本金・国庫補助金 等 2級：社会福祉法人の財務諸表、資産・負債・引当金の会計処理 等 1級：会計の原則と財務諸表注記事項、リース会計、退職給付会計 等 経営管理：財務分析、経営計画 等 講師 総合福祉研究会所属会員（公認会計士）		
連絡先	総合人材センター（088-844-4611）		

社会福祉法人法令遵守研修会

研修時期／場所	2025年12月頃／ふくし交流プラザ	受講料	5,000 円
研修の目的	社会福祉法人の法令遵守と財務規律のチェックポイントを解説する。		
対象	社会福祉法人の役員、運営管理職、会計担当者等		
主な内容	社会福祉法人会計（入門）、法令遵守（法人運営と決算）等		
連絡先	総合人材センター（088-844-4611）		

社会福祉法人決算実務研修会

研修時期／場所	2026年2月／ふくし交流プラザ	受講料	5,000 円
研修の目的	社会福祉法人の財務管理について理解し、決算実務上の留意点を学ぶ。		
対象	社会福祉法人の役員、運営管理職、会計担当者等		
主な内容	決算実務上の留意点（リース会計、減価償却、基本金、国庫補助金）等		
連絡先	総合人材センター（088-844-4611）		

納税事務研修会

研修時期／場所	2025年7月／ふくし交流プラザ	受講料	3,000 円
研修の目的	納税事務を適切に行うため、税務の基礎知識を習得する。		
対象	社会福祉施設・事業所の納税事務を担う職員、管理者		
主な内容	法人税、所得税、消費税、印紙税 等		
連絡先	総合人材センター（088-844-4611）		

労務管理研修会

研修時期／場所	2025年11月／ふくし交流プラザ	受講料	3,000 円
研修の目的	良好な労働環境を構築するため、関係法令その他労務管理に必要な知識を習得する。		
対象	社会福祉施設・事業所の運営管理職および労務管理担当者		
主な内容	労働関係法令の基本的理解・改正のポイント、労務管理の留意点 等		
連絡先	総合人材センター（088-844-4611）		

X. 地域福祉関係研修

社会福祉協議会職員研修

研修の目的	社会福祉協議会が地域福祉を推進していくうえで必要な、知識・技術を身に付ける。			
内容	研修名	研修時期	受講料	内容・テーマ
	日常生活自立支援事業 新任職員研修会	4月	無 料	日常生活自立支援事業とは、支援の視点等
	コミュニティソーシャル ワーク研修（入門）	7月	1,000 円	実践発表、権利擁護、記録の意義、CSW機能 の理解等
	コミュニティソーシャル ワーク研修（実践）	8～9月	2,000 円	コミュニティソーシャルワークに必要な知識や 技術の習得
	日常生活自立支援事業 生活支援員研修会	10月	無 料	制度の動向や生活支援員業務に求められること
	日常生活自立支援事業 専門員研修会	11月	無 料	制度の動向や専門員業務に求められること
	事務局長等セミナー	12～1月	1,000 円	組織経営、マネジメント力の向上
	包括的相談支援対応力 向上研修	12～1月	無 料	複合的課題を抱えるケースの解決に向けた多機 関連携の共通基盤づくり
	コミュニティソーシャル ワーク事例検討会	1月	無 料	事例検討による実践力の向上
	地域福祉活動交流会	2月	無 料	地域づくりに関する講義及び実践報告
	監事研修	2月	1,000 円	適正な法人・事業運営に向けたポイントや不適 正事案の発生防止等
連絡先	地域・生活支援課（088-844-9019）			

生活支援コーディネーター研修

研修の目的	地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域生活の継続を支える多様な社会資源の発掘や担い手の養成、ネットワーク化などを行う「生活支援コーディネーター」に必要な知識や技術を学ぶ。			
内容	研修名	研修時期	受講料	内容・テーマ
	生活支援コーディネーター研修	未定 （年2回）	無 料	生活支援コーディネーターに期待される機能と役割、地 域アセスメント手法、実践事例発表、意見交換等
連絡先	地域・生活支援課（088-844-9019）			

あったかふれあいセンター職員研修

研修の目的	地域福祉の理解や既存施策の理解を深めるとともに、あったかふれあいセンターのスタッフやコーディネーターとして、課題に応じた具体的な活動や支援方法について学ぶ。			
主な内容	研修名	研修時期	受講料	内容・テーマ
	スタッフ研修	5月予定	無 料	自己の理解、目標設定、アクションプランの策定等
	テーマ別研修	7～9月予 定（年2回）	無 料	利用者理解、地域支援等
	コーディネーター 研修	8月予定	無 料	スタッフ育成、包括的な支援体制づくり等
	フォローアップ 研修会	12月予定	無 料	スタッフ研修の振り返り、今後の目標設定等
連絡先	地域・生活支援課（088-844-9019）			

XI. その他の研修

子育て支援員専門研修（地域子育て支援拠点事業）

研修時期／場所	全2回 2025年7月～12月（予定） ふくし交流プラザ（予定）	受講料	無 料
研修の目的	「地域子育て支援拠点事業」に従事する専任職員を養成することにより、子どもや子育てをめぐる環境が大きく変化する中で、子どもの健やかな育ちの支援体制を確保する。		
対象・受講要件	①、②又は③の要件を満たす者 ①子育て支援員研修（基本研修）修了者 ②保育士資格又は社会福祉士資格を有している者 ③その他国家資格（幼稚園教諭、看護師等）を有し、かつ日々子どもと関わる業務に携わるなど、実務経験により、基本研修で学ぶべき知識等が習得されていると認められる者		
主な内容	地域子育て支援拠点事業の全体像の理解、利用者の理解、地域子育て支援拠点の活動、講習等の企画づくり、事例検討、地域資源の連携づくりと促進		

子育て支援員フォローアップ研修及び現任研修 （地域子育て支援拠点事業）※現任者向け研修

研修時期／場所	全2回 2025年7月～12月（予定） ふくし交流プラザ（予定）	受講料	無 料
研修の目的	地域子育て支援センターの従事者としての資質の向上を図るために必要となる、基礎的分野から事業の特性に応じた専門分野における必要な知識・技術を習得する。		
対象・受講要件	地域子育て支援センター職員、市町村担当職員		
主な内容	（2024年度）地域子育て支援拠点に求められる役割について／子育ての推進について		

子育て支援員フォローアップ研修及び現任研修 （地域子育て支援拠点事業）※地域子育て支援センター施設長・市町村職員向け研修

研修時期／場所	2025年7月～12月（予定） ふくし交流プラザ（予定）	受講料	無 料
研修の目的	地域子育て支援センターの施設長や市町村の担当職員を対象とした研修を実施し、地域子育て支援センターに求められる役割や今後の子育て支援の展開などについて考える。		
対象・受講要件	地域子育て支援センターの施設長、中堅職員、市町村担当職員		
主な内容	（2024年度）子育ての推進について		

子育て支援員専門研修（ファミリー・サポート・センター事業）

研修時期／場所	2025年7月～12月（予定） ふくし交流プラザ（予定）	受講料	無 料
研修の目的	「ファミリー・サポート・センター事業」に従事する提供会員を養成することにより、病児・病後児の預かり、早朝・夜間等の緊急時の預かりや、ひとり親家庭等の支援など多様なニーズへの対応体制を確保する。		
対象・受講要件	①、②又は③の要件を満たす者 ①子育て支援員研修（基本研修）修了者 ②保育士資格又は社会福祉士資格を有している者 ③その他国家資格（幼稚園教諭、看護師等）を有し、かつ日々子どもと関わる業務に携わるなど、実務経験により、基本研修で学ぶべき知識等が習得されていると認められる者 ※専門研修修了には、別に実施する地域保育コース共通科目の修了が必要です。		
主な内容	ファミリー・サポート・センターの概要、ファミリー・サポート・センターの援助内容、ファミリー・サポート・センターにおける保護者（依頼会員）への対応、援助活動の実際		

ファミリー・サポート・センター アドバイザー研修 （ファミリー・サポート・センター事業）

研修時期／場所	2026年2月（予定）／ふくし交流プラザ（予定）	受講料	無 料
研修の目的	アドバイザーの業務を行う者に対して研修を実施することで、資質の向上を図り、ファミリー・サポート・センター事業の効果的な運営について考える。		
対象・受講要件	ファミリー・サポート・センター職員、市町村担当職員		
主な内容	（2024年度）アドバイザーとしての心構え、提供会員の確保・活動促進方法、配慮が必要な家庭への対応など		

XI. その他の研修

福祉サービス苦情解決セミナー

研修時期／場所	2025年9月2日／ふくし交流プラザ	受講料	1,000 円
研修の目的	受け付けた苦情について、その本質の理解を踏まえ、よりよい解決に結びつけることはもとより、必要な改善点などを見極めながら、提供する福祉サービスの質の向上に活かすことを目的とする。		
対象・受講要件	各社会福祉施設・事業所の第三者委員、苦情解決責任者、苦情受付担当者等 市町村行政、その他関係機関等		
主な内容	○苦情解決のための体制の整備促進 ○苦情の本質の理解を踏まえたよりよい解決 ○福祉サービスの質の向上		
備考	本研修の効果を高めるため、受講時には、サービス利用者の尊厳を守ることや利用満足度を高めることの重要性を一定理解できていることが望まれる。		
問合せ先	高知県運営適正化委員会事務局（088-802-2611）		

児童養護施設等中堅職員研修会

研修時期／場所	秋頃／ふくし交流プラザ（予定）	受講料	無 料
研修の目的	児童養護施設の中堅職員等を対象に、中堅職員に期待される、子どもの養育支援やチームケアなどの基本的知識を習得することで、今後の施設の目指すべき姿や自らの役割、行動計画等を明確化し、具体的に実践につなげる。		
対象・受講要件	児童養護施設等での経験年数概ね3年以上の中堅職員		
主な内容	○中堅職員が担う役割 ○中堅職員に求められる専門性 等 ※高知県児童養護施設協議会と共催		

子ども食堂関係研修

研修の目的	子どもの居場所づくりに向けた研修及び、より良い子どもの居場所について検討する場を持つ。			
主な内容	研修名	研修時期	受講料	内容・テーマ
	子ども食堂スタッフ研修	4会場	無料	子ども食堂のスタッフに向けて、子どもとの接し方で大切なことや、事故や食事を提供する上でのリスク管理について学ぶ。
問合せ先	高知県ボランティア・NPOセンター（088-850-9100）			

ボランティア・NPO関係研修

研修の目的	ボランティアの募集や受け入れ方法を学ぶ。 NPOの概要や組織運営にあたって必要な知識を学ぶ。			
主な内容	研修名	研修時期	受講料	内容・テーマ
	ボランティアコーディネーター研修	6月頃	無料	NPOや福祉施設等でのボランティアの受け入れ
	NPO基礎講座	11月頃	無料	NPOの基礎について学ぶ
	NPO新任役員・スタッフ研修	7月頃	1,000 円	NPOの運営の基本について学ぶ
	NPO会計初級講座	8月頃	2,000 円	NPOの会計についてわかりやすく学ぶ
	NPO労務講座	9月頃	1,000 円	NPO法人の労務について学ぶ
	NPOパワーアップセミナー	1月頃～	1,000 円	NPOの組織運営方法について学ぶ
	NPOデジタル化セミナー	8月頃	無料	デジタル技術の活用について学ぶ
問合せ先	事業報告書セミナー 2月頃 無料 NPO法人の事業報告について学ぶ 高知県ボランティア・NPOセンター（088-850-9100）			

XII. 他団体情報

団体名	高知県社会福祉法人経営者協議会		
代表者名	会長 楠目 隆		
事務局住所	〒780-8567 高知市朝倉戊375-1 県立ふくし交流プラザ1階		
電話番号	088-844-4611		
FAX番号	088-844-9443		
メールアドレス	keieikyo@pippikochi.or.jp		
URL	https://kochi-keieikyo.jp/		
活動概要	社会福祉施設等の経営主体である社会福祉法人の強化と経営管理に関する連絡調整、基本的課題の調査、研究及び課題解決のための実践を行うことを目的とした団体です。社会福祉法人の経営基盤確立のための企画・調査及び研究、地域における公益的な取り組みの推進等に取り組んでいます。		
研修名	対象	テーマ・内容	開催時期
第35回中国・四国地区社会福祉法人経営者セミナー	社会福祉法人役職員	人材確保・育成、事業継続（災害・感染症対策）、法人間連携（合併等）、法人経営	令和7年 7月10日～11日 （岡山県開催）
総会研修会	社会福祉法人役職員	高知県経営協における災害対応 社会福祉の動向と全国経営協の取組 等	令和7年5月13日
経営協セミナー	社会福祉法人役職員	SDGs、制度改正の動向、災害福祉支援、人材確保、地域における公益的な取組等	令和7年 9月頃 令和7年12月頃
青年会セミナー	社会福祉法人役職員	人材確保、施設見学、養成校との意見交換等	未定 （年5回程度）

団体名	高知県老人福祉施設協議会		
代表者名	会長 井上 章		
事務局住所	〒780-8567 高知市朝倉戊375-1 県立ふくし交流プラザ1階		
電話番号	088-844-4611		
FAX番号	088-844-9443		
メールアドレス	info@kochi-roshikyo.jp		
URL	https://www.kochi-roshikyo.jp/		
活動概要	当協議会は高知県内にある特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）、養護老人ホーム、軽費老人ホーム・ケアハウス及び老人デイサービスセンター（通所介護）が会員となり、相互の連絡を密にするとともに、施設経営や職員の資質向上のための研修会を通じて会員施設・事業所の発展と老人福祉の向上につとめることを目的としています。		
研修名	対象	テーマ・内容	開催時期
各職種別研修会	老人福祉施設の職種別の職員	現在、課題になっている テーマを取り上げる （随時決定）	未定
養護老人ホーム部会・研修	老人福祉施設の役職員（会員）		
軽費老人ホーム・ケアハウス部会・研修	老人福祉施設の役職員（会員）		
デイサービスセンター研修会	老人福祉施設の役職員		
JS 次世代委員会研修会	老人福祉施設の若手役職員		

XII. 他団体情報

団体名	高知県地域密着型サービス協議会		
代表者名	会長 内田 泰史		
事務局住所	〒781-0240 高知市横浜20-1 総合福祉施設ヘリオス内		
電話番号	088-848-2002（ヘリオス代表）		
FAX番号	088-848-2005		
メールアドレス	kochi.chiiki.org@gmail.com		
URL	http://www.kochi-chiiki.org/		
活動概要	地域密着型サービス事業所が、高知県内でゆるやかにネットワークすることで、支援を必要とする地域や住民の生活・福祉の向上と、小規模で家庭的な個別ケアの推進を図り「誰もが地域でその人らしく普通に暮らせる」ことを目的として活動しています。		
研修名	対象	テーマ・内容	開催時期
記念講演会	会員・一般	調整中	2025年6月7月頃 ※日決定後にHPに公開 ※集合・オンライン併用開催予定

団体名	高知県介護老人保健施設協議会		
代表者名	会長 中本 雅彦		
事務局住所	〒781-5701 安芸郡芸西村和食甲4249 介護老人保健施設リゾートヒルやわらぎ内		
電話番号	0887-33-3720		
FAX番号	0887-33-3687		
メールアドレス	k.roken.jimu@gmail.com		
URL	http://www.kochi-roken.org		
活動概要	高知県は我が国の高齢者関連動向において、あらゆる側面から常に全国トップ集団に位置してきました。高齢者人口割合、少子高齢化の進展に伴う生産労働人口減少、総人口減少、高齢夫婦世帯と高齢者単身世帯の著しい増加等々、都市部を含めた日本の未来予想図を描くモデル県といえます。働く世代人口が減少する一方で、75歳以上人口の増加と要介護高齢者、特に認知症を有する要介護高齢者の増加、身寄りのない人の増加など、地域課題は多様であり、介護老人保健施設（老健施設）への期待はこれまで以上に高まっています。 老健施設は元来在宅復帰支援・在宅支援を重要な機能として運営されてきましたが、2017年の介護保険法改正により、「居宅支援」がより一層明確に求められることとなりました。医療介護福祉専門職（多職種）による通所・訪問・短期入所・入所サービスを提供可能とする身近な地域の中での「大規模多機能施設」といえます。 すべての人々の最高水準の健康生活の実現（well-being）に向け、その土台となる地域包括ケアシステムの中での老健施設の役割は明確です。高知県における老健施設数は決して多くはありませんが、少数精鋭の会員施設が一つとなり、他の医療・介護施設団体や多くの職能団体、県・市町村機関、地域住民の方々と目的を一つに、「One for all All for one」の精神にて精進して参ります。		
研修名	対象	テーマ・内容	開催時期
高知県介護老人保健施設大会	会員・一般	担当ブロックごとに当該年のテーマ・企画等を検討する。令和6年度は生産性向上をメインテーマに、働く私たちの心の和を共有し、ノーリフティングケアを学ぶ。	1月～2月
職種別情報交換会・研修会	会員	職種職域別に計画実施 管理職部会（経営管理）・看護介護部会・リハビリテーション部会・支援相談員ケアマネ部会・管理栄養部会・口腔ケア部会（歯科衛生士専門部会）	年に1～2回、不定期
介護報酬改定説明会	会員	介護報酬改定について	報酬改定年度前後の3月4月
ノーリフティングケア研修会	会員と関連法人職員	働く環境の改善と生産性向上をめざし、ノーリフティングケア研修の基礎編と応用編を実施（講義と実技）、またノーリフティングケアの導入プロセス（PDCAサイクル）を通じ職場の業務改善力向上をめざす。	7月～12月
接遇研修会	会員と関連法人職員	外部講師を招き介護現場における接遇マナー、人格尊重等を学ぶ。（講義と実技）	10月～12月
感染症対策研修会	会員と関連法人職員	外部講師を招き新型コロナウイルス感染症の感染予防と感染拡大防止について学ぶ（予防～治療）	9月～12月

XII. 他団体情報

団体名	高知県児童養護施設協議会		
代表者名	会長 門吉 直人		
事務局住所	〒781-5603 香南市夜須町西山 1319-1		
電話番号	0887-54-2730		
FAX番号	0887-54-3160		
メールアドレス	aidoen-hon@mc.pikara.ne.jp		
活動概要	当協議会は県下の社会的養護を担う児童養護施設等が加入している団体です。各施設から選出された委員による研修検討委員会を立ち上げ、年間の研修を企画、立案、実施しています。子どもたちを守り育てるため、養育支援、権利擁護、自立支援、心理的ケア等を学び、職員のスキルアップや人材育成等、児童福祉の向上に取り組んでいます。また、職員相互の情報・意見交換を図るとともに、現状の課題などについても協議しています。		
研修名	対象	テーマ・内容	開催時期
新任職員研修	会員	内部、外部講師を招聘して、施設職員としての基礎的知識、権利擁護、チームケア、児童の発達特性などの講義やグループワークを実施する。	2025 年 5 月下旬
中堅職員研修	会員		2025 年 10 月下旬
四国ブロック施設長研修	会員	四国内の施設長や職員に対して、情勢報告やその時々課題についての講演、グループ討議などを実施する。	2025 年 7 月上旬
テーマ別研修	会員	社会的養護の現状に必要とされるテーマを設定し、研修を実施する。	2025 年 12 月上旬

団体名	高知県身体障害者（児）施設協会		
代表者名	会長 岡村 理佐		
事務局住所	〒786-0021 高岡郡四万十町仁井田字倉木 462		
電話番号	0880-22-8382		
FAX番号	0880-22-8271		
メールアドレス	oikonia@hyper.ocn.ne.jp		
活動概要	本会は、身体障害者（児）の福祉を専門に行う施設・事業所の加入制によって構成されており、福祉の向上に資する調査・研究・研修等の活動を中心に行っているほか、会員間の連絡調整や情報連絡、職員の資質向上を目指した研修等を行っています。		
研修名	対象	テーマ・内容	開催時期
高知県身体障害者（児）施設協会・高知県社会就労センター協議会合同管理者研修	会員施設・事業所の管理職	障害福祉に関する諸課題等についての研修・講演、行政説明等	年一回 年度後期
高知県身体障害者（児）施設協会・高知県社会就労センター協議会合同職員研修	会員施設・事業所の職員	障害者就労（通所）関係事業所を持つ生活支援・就労支援の両面にわたる職員の資質向上を目的とし、事業所の事例・活動等の発表、講演、分科会、行政説明等	年一回 年度後期
高知県身体障害者（児）施設協会生活部会研修会	会員施設・事業所の職員	会員施設・事業所の職員の知識・技術の向上を目的とする講演、事例や活動の発表、分科会、グループワーク、行政説明等	年一回 年度後期

XII. 他団体情報

団体名	高知県知的障害者福祉協会		
代表者名	会長 石川 俊光		
事務局住所	〒781-5452 高知県香南市香我美町下分 960-1 香南くろしお園内		
電話番号	0887-55-3130		
FAX番号	0887-54-0126		
メールアドレス	Kochi-fukushi531@iaa.itkeeper.ne.jp		
URL	https://kochi-aigo.com/		
活動概要	高知県知的障害者福祉協会は、日本知的障害者福祉協会の構成団体として、知的障害者の福祉増進を図るため、次の事業を行っています。 ・日本知的障害者福祉協会が行う事業への協力と参加 ・知的障害者福祉を推進するための経営及び運営に関する調査・研究 ・知的障害者福祉を推進のための支援に関する調査・研究 ・会員施設の相互協力体制の充実 ・その他、本会の目的を達成するため必要な事業		
研修名	対象	テーマ・内容	開催時期
施設長・幹部職員研修会	県内知的障害関係施設長および幹部職員	知的障害者福祉を推進するための経営および経営に関する調査研究 知的障害者福祉を増進するための支援に関する調査研究等	年3回 (6月、11月、3月) ※集合開催
職員研修会	会員	働きがいのある職場、働きやすい職場、誇りが持てる職場	年2回 (8月、2月) ※集合開催

団体名	高知県保育所経営管理協議会		
代表者名	会長 中山 裕司		
事務局住所	〒780-0870 高知市本町4-1-37 丸の内ビル3階3号		
電話番号	088-823-5804		
FAX番号	088-823-5814		
メールアドレス	hokankyo@kochi.email.ne.jp		
URL	http://kochihokankyo.com/		
活動概要	高知県に所在する、地方公共団体又は社会福祉法人が経営する保育所、認定こども園及び地域型保育事業所（以下「保育所等」）を会員とし、保育所等の掌に有るものの相互間の連携をはかり、経営能力の向上につとめると共に、保育行政財政の拡充を推進し、施設を守り、保育事業の振興、児童福祉の進展に寄与することを目的に活動をしております。		
研修名	対象	テーマ・内容	開催時期
令和7年度高知県保育所長等研究会	保育所経営者、所長及び職員、市町村保育担当課（非会員も参加可能）	当会の調査研修部が企画したテーマ・目的に沿った外部講師を選択・招聘し講演を実施する。	2026年 1月又は2月頃 予定

XII. 他団体情報

団体名	高知県保育士会		
代表者名	会長 田ノ内 学		
事務局住所	〒780-8567 高知市朝倉戊375-1 県立ふくし交流プラザ1階		
電話番号	088-844-4611		
FAX番号	088-844-9443		
メールアドレス	hoiku@pippikochi.or.jp		
活動概要	よりよい保育や子育て支援の実現のために保育に関わる方の専門性、社会的地位の向上および関係機関との連携推進をはかることを目的として活動しています。		
研修名	対象	テーマ・内容	開催時期
部会（4部会） ・園長部会 ・主任部会 ・保育部会 ・給食部会	高知県保育士会 会員	それぞれの部会で研修や情報交換を実施	2025年 6月～
研修	保育士等 （会員・非会員）	発達・絵本・保育要録等多分野について実技や講話での研修を年間5回ほど開催予定	2025年 6月～12月頃
第69回高知県 保育研究集会	保育士等 （会員・非会員）	（内容） すべての子どもの最善の利益の保障に向けて、研究協議を深め、保育の質の向上を図る。	2025年 11月30日（日）

団体名	高知県精神保健福祉士協会		
代表者名	会長 宮本 彰		
事務局住所	〒780-0870 高知市本町4丁目1番37号 丸の内ビル 高知県社会福祉センター3F		
電話番号	080-9387-1056		
FAX番号	088-871-5100		
メールアドレス	kochipsw@yahoo.co.jp		
URL	http://www.kochi-psw.com		
活動概要	公益社団法人日本精神保健福祉士協会高知県支部と連携し、精神保健福祉に関する研究および技術の研鑽を行い、精神保健福祉士の資質向上を図るとともに、本県における精神保健福祉の発展に寄与することを目的とする。その上で、質の高い支援業務の実践を目指し、知識の獲得とともに日頃より会員同士の交流・意見交換が持てる場として以下のような研修会の開催を行っている。		
研修名	対象	テーマ・内容	開催時期
各種研修会	当協会員	初任者研修、社会資源・制度の学習研修、倫理・価値などの専門職研修、業務の実践報告会等を開催	年10回程度 ※集合・オンライン併用開催
ソーシャルワーカー デー関連事業	保健医療介護福祉関係者	社会福祉専門職の社会的認知を高めることを目的にソーシャルワーカー関連団体が合同で開催	海の日（7月第3月曜日）前後 ※集合・オンライン併用開催
高知県地域移行・ 地域定着支援関係 者研修	障害福祉サービ ス事業者	障害者総合支援法における地域移行定着支援に関する研修（高知県からの委託事業）	年1回（1～3月頃） ※集合開催
基幹研修Ⅰ・Ⅱ	四国内の日本精神保健福祉士協会 会会員	公益社団法人日本精神保健福祉士協会「生涯研修制度」委託事業として、精神保健福祉士の職務に関する知識・技術ならびに倫理・資質の向上を図ることを目的に開催	四国内の精神保健福祉士協会が持ち回りで開催 ※集合開催

XII. 他団体情報

団体名	高知県介護福祉士会		
代表者名	会長 土居 沙織		
事務局住所	〒780-8567 高知市朝倉戊375-1 県立ふくし交流プラザ1階		
電話番号	088-844-4611		
FAX番号	088-844-9443		
メールアドレス	ccw@kaigo-kochi.jp		
URL	https://www.kaigo-kochi.jp/		
活動概要	介護福祉士や介護福祉士を目指す方々を対象に、知識・技術及び心（福祉の心）の資質向上を目指す、個人会員で構成している職能団体です。会員の皆様等を対象に様々なテーマで研修会を開催するとともに、介護分野の情報をいち早くお届けしております。詳細は右記QRをご覧ください。		
研修名	対象	テーマ・内容	開催時期
第1回全体研修会	介護福祉士・介護職員等	人材確保・育成のために、私たち介護福祉士はこれからどうするべきか（仮）	4月26日（土）
第2回全体研修会	介護福祉士・介護職員等	メンタルヘルス	8月
第3回全体研修会	介護福祉士・介護職員等	音楽療法	令和8年2月
実習指導者講習会	介護福祉士として3年以上実務に就いている方で実習指導者になる（予定）方及び現に実習指導を行っている方	本講習会は実習施設・事業等Ⅱの指導者資格として必要とされる「厚生労働省が別に定める研修過程」であり、実習指導における指導方法等について必要な知識と技術を習得することを目的として開催する	6～7月 （全4日間）
介護福祉士基本研修	介護福祉士資格取得後3年未満の方等	介護過程の展開及びその前提となる生活支援としての介護の視点や、自立支援の考え方を中心に学ぶ	7～8月 （全4日間）
倫理に関する研修	介護福祉士・介護職員等	虐待防止と職業倫理について学ぶ	9月
介護技術研修会	介護福祉士・介護職員等	介護技術研修会	10月
介護福祉士国家試験模擬試験	介護福祉士国家試験受験者	介護福祉士国家試験受験者を対象とした模擬試験を行う	10月・11月（2回）
介護職種の技能実習指導者講習会	技能実習指導員になる予定の者等	介護現場で技能実習生の指導に当たる技能実習指導員等に対し、技能実習生の指導に必要な知識・技術を習得することを目的として開催する	令和8年1月
青年部 NEXT 勉強会	介護福祉士・介護職員等	施設見学1回、勉強会1回	随時

XII. 他団体情報

団体名	高知県介護支援専門員連絡協議会		
代表者名	森田 誠		
事務局住所	〒780-8028 高知市北高見町50-1		
電話番号	088-856-6277		
FAX番号	088-856-6288		
メールアドレス	kochi-cm@kochi-caremanager.jp		
URL	http://kochi-caremanager.jp/		
活動概要	当協議会に所属する介護支援専門員は「ケアマネジメント」を担う専門職として、居宅介護支援事業所や介護保険施設、地域包括支援センター、地域密着型サービス等様々な事業所で活動しています。 介護支援専門員の質の担保をはかることを目的として「職業倫理の向上」「ケアマネジメントプロセスの実践力向上」「相談援助職としての技術の向上」「専門分野の知識の習得」のための研修を開催しています。また、離職予防や事業継承を踏まえた人材育成のための研修もしています。今年度は、地域共生型社会の実現に向け、介護保険だけでは充足できない介護支援専門員が抱えがちなグレーゾーンの支援について新たな社会資源を創設するためのノウハウに関する研修や主任介護支援専門員にとって欠かせないスキルである「スーパービジョンの基本」についての研修を予定しています。		
研修名	対象	テーマ・内容	開催時期
地域共生研修	介護支援専門員	「今、高知家の介護支援専門員のあるべき姿」 講師：医療経済研究機構 服部真治氏	令和7年5月24日
スキルアップ研修	介護支援専門員	「スーパービジョンの基本を学ぶ（仮題）」 講師：高知県立大学社会福祉学部 西梅幸治氏	令和7年8月以降
防災研修	介護支援専門員、地域包括支援センター、保健所など	「防災研修～その時BCPはいきたか？～」 講師：武庫川大学准教授 増田和高氏	令和7年8月～9月
スキルアップ研修	介護支援専門員 主任介護支援専門員	「アセスメントの理解（仮題）」 「スーパービジョンを活用した人材育成研修（仮題）」 講師：日本ケアマネジメント学会副会長 白木裕子氏	令和7年10月以降

団体名	一般社団法人高知県社会福祉士会		
代表者名	会長 久野 貴裕		
事務局住所	〒780-0870 高知市本町4丁目1番37号 3階12号室		
電話番号	088-855-5921		
FAX番号	088-855-3612		
メールアドレス	kochicsw@leaf.ocn.ne.jp		
URL	http://kochicsw.main.jp/wp/		
活動概要	当法人は、社会福祉士の倫理を確立し、専門的技能を研鑽し、社会福祉士の資質と社会的地位の向上に努めるとともに、社会福祉の援助を必要とする高知県民の生活と、権利の擁護及び社会福祉の増進に寄与することを目的とする。		
研修名	対象	テーマ・内容	開催時期
高齢者・障害者権利擁護 専門家チーム研修会	社会福祉士会会員等	専門家チームが実施する事業の意義及び社会福祉士に求められる役割や、留意点について学ぶ。	年1回ほど実施 (ホームページ参照)
障がい者・子ども 家庭支援委員会研修	高知県社会福祉士会(会員・非会員)	各研修開催日により検討	2025年10月、 2026年1月頃 (ホームページ参照)
基礎研修 Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	社会福祉士資格 取得者	社会福祉士として共通に必要な価値・知識・技術を学び、社会福祉士の専門性の基礎を身につけることを目的としている。	2025年5月以降 順次開催予定 (ホームページ参照)
社会福祉士受験対策勉強会	社会福祉士国家試験受験予定者	受験者の仲間作りと試験問題の疑問点を解消する事で、皆様が少しでも安心してまた自信を持って受験に取り組めるよう支援する勉強会。	2025年11月・12月・2026年1月頃 (ホームページ参照)
権利擁護支援アドバイザー研修	社会福祉士会会員等	権利擁護支援体制に関する研修 アドバイザーのスキルアップ研修	年2回

XII. 他団体情報

団体名	高知県医療ソーシャルワーカー協会		
代表者名	会長 中本 雅彦		
事務局住所	〒780-0870 高知市本町4-1-37 丸の内ビル 社会福祉センター3階		
電話番号	設置無し		
FAX番号	088-871-5100		
メールアドレス	kochi_msw2017@yahoo.co.jp		
URL	http://www.kochi-msw.com		
活動概要	高知県医療ソーシャルワーカー協会は、保健医療分野で働くソーシャルワーカー（社会福祉士・精神保健福祉士）及びその活動の普及・発展を支援する人々によって構成されている専門職団体です。1953年に全国組織が結成され、高知県では1960年に「医療社会事業の正しい発展を期するため、会員相互の協力より、その資質を高め地位の確立を図りもって公衆衛生の向上と社会福祉の増進に寄与する。」ことを目的として設立されました。設立当初は5名の会員から始まり、現在は約270名の会員で構成され2020年には創立60周年を迎えました。16名の役員構成と会員主導の部会委員会形式にて運営しています。主に病院や診療所、介護老人保健施設、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等にてソーシャルワークを実践し、経済面（医療費・介護費）、病気や障がい、育児、就学、就労などに不安や問題を抱える際に相談に応じます。		
研修名	対象	テーマ・内容	開催時期
月例会	会員・非会員	介護保険・医療保険 報酬制度改定	改定年の5月～6月 ごろ
月例会	会員・非会員	行政説明。障がい者制度関連、介護保険制度	6月～8月
月例会	会員・非会員	行政説明。生活保護制度の改定	〃
新人研修	会員	講義と交流演習形式。介護保険施設見学、ソーシャルワーカーの実践と課題、自己覚知、組織とソーシャルワーク、交流形式（リモート開催）	6月または7月
基礎研修Aコース	会員	講義と演習。ソーシャルワークの価値・視点・専門性、保健医療分野におけるソーシャルワークの役割、保健・医療・福祉をめぐる動向、諸制度の変遷、ソーシャルワークと社会資源	2つの研修コースを 隔年実施 実施決定次第案内
基礎研修Bコース	会員	講義と演習。専門的援助関係とは、連携づくり、面接技術、自己覚知	6月または7月
専門研修	会員	講義と演習。経験年数4年以上を要件によりソーシャルワークスキルの資質向上を目的、テーマ内容は毎年検討、講義と実技	9月以降
医療ソーシャルワーカー協会大会	会員・一般	講演と演習・交流・情報交換会。毎年時代のニーズに応じたテーマを設定。 令和3年度～5年度は身元保証問題、令和6年～8年は災害支援を予定	3月ごろ
新人フォローアップ研修	会員	講義と交流演習。新人1年目の業務振り返りとまとめ、来年度の目標協議	2月ごろ
基礎研修医療コース	会員	ソーシャルワーク実践に必要な基礎的医学知識の習得 令和5年度 新型コロナ	1月ごろ
身寄りのない人支援の集い	会員・非会員	身元保証問題について、身寄りのない人支援ガイドラインに基づき関連する項目について情報共有、問題検討を行う。リモート開催	不定期
人生会議と意思決定支援について	会員・非会員	高知県在宅療養推進課医療従事者レベルアップ事業による人生会議・意思決定支援に関する研修会	不定期

XII. 他団体情報

団体名	公益財団法人 介護労働安定センター高知支部		
代表者名	支部長 大谷 浩子		
事務局住所	〒780-0834 高知市堺町2-26 高知中央ビジネススクエア 7階		
電話番号	088-871-6234		
FAX番号	088-871-6248		
メールアドレス	kochi@kaigo-center.or.jp		
URL	https://www.kaigo-center.or.jp/		
活動概要	介護事業所の魅力ある職場づくりを目指して、雇用管理改善のための相談援助事業および介護労働者の能力開発・向上のための支援事業を実施しています。下記の他、個別の事業所に出前・出張研修も実施しています。		
研修名	対象	テーマ・内容	開催時期
★雇用管理や生産性向上に関する研修			
リスクマネジメントによる損失防止対策	介護事業所で勤務する中堅層・管理者層	リスクによる損失の回避及び拡大防止、不確定要素の軽減、排除をはかる	7月17日(木) 10:00~17:00
SNSを活用した情報発信	ITを活用した情報発信に取り組む方	SNSの利用方法、効果的な活用方法	8月26日(火) 10:00~17:00
業務改善等	介護事業所で勤務する中堅層・管理者層	人が辞めない職場づくりのポイント	R7.11月予定 10:00~17:00
ストレスチェックで職場環境改善と生産性向上	介護事業所で勤務する中堅層・管理者層	ストレスチェックを用い、職場環境の改善による生産性向上を目指す	12月4日(木) 10:00~17:00
効果的なOJTを実施するための指導法	介護事業所で勤務する中高年齢層	効果的なOJTと人材育成の進め方	R8.1月22日(木) 10:00~17:00
業務効率向上のための時間管理	介護事業所で勤務する初任層・中堅層	限られた人員で最大限の成果をあげることによる労働生産性の向上を目指す	R8.2月20日(金) 10:00~17:00
※上記の他にも雇用管理改善や業務効率化・生産性向上等に関する研修を計画しています。決定次第HPにアップします。 また、事業所内で行う研修の企画、運営等のサポートもしています。お気軽にご相談ください。			
★障害者総合支援法関連研修			
全身性障害者移動支援従事者研修	ヘルパー2級以上	全身性の障害を有する方の外出時における支援を行うために必要な資格です。	未定
難病患者等ホームヘルパー養成研修	実務者研修以上	難病患者等のホームヘルプサービスを提供するため、必要な知識、技能を有するホームヘルパーの養成を図ります。	11月予定
★能力開発やスキルアップに関する研修(短期専門講習)			
介護職が知っておくべき薬の知識	介護職員等	薬の基礎知識や現場事例、リスクマネジメント、ポリファーマシーについて学びます。	7月頃 日時未定 ※状況によりオンライン開催
介護記録の書き方	介護職員等	介護記録の意義と目的を理解し、記録を介護にどのように活かすかを学ぶ。	8月頃 日時未定 ※状況によりオンライン開催
在宅等での生活支援技術(移動・移乗他)	介護職員等	福祉用具を用いて在宅等での安心・安全な介助技術を再確認しましょう。	10月頃 日時未定 ※状況によりオンライン開催
認知症ケアに必要なコミュニケーション技術	介護職員等	パーソンセンタードケアから認知症の方とのコミュニケーション技術を学びます。	11月頃 日時未定 ※状況によりオンライン開催
★Webセミナー(オンデマンド)			
マナー・接遇	介護職員等	管理職のコミュニケーション術	5月15日~28日 ※状況によりオンライン開催
【法定研修】	介護職員等	感染症と食中毒の対策強化	6月12日~25日 ※状況によりオンライン開催
【法定研修】	介護職員等	認知症の方に対する介護技術(食事介助・排泄介助)~現場ですぐ役立つ心地よい介助~	7月11日~24日 ※状況によりオンライン開催
【法定研修】	介護職員等	『災害時』の介護現場の対応~みんなの命をまもるために一人ひとりができること~	8月15日~28日 ※状況によりオンライン開催
組織マネジメント	介護職員等	円滑な多職種連携を行うための体制づくり	9月11日~24日 ※状況によりオンライン開催
【法定研修】要介護度進行予防	介護職員等	認知症の理解と認知症チームケア~BPSDを正しく理解し、早期対応方法をチームとして考えよう~	9月19日~10月2日 ※状況によりオンライン開催
口腔ケア	介護職員等	口腔ケア	10月15日~28日 ※状況によりオンライン開催
【法定研修】高齢者虐待防止法	介護職員等	虐待防止と身体拘束防止~問題改善のプロセスを明確にし対策しよう~	11月13日~26日 ※状況によりオンライン開催
生産性向上	介護職員等	現場のニーズに合った介護ロボットの見つけ方	12月11日~24日 ※状況によりオンライン開催
リスクマネジメント	介護職員等	介護事故トラブルを防ぐポイント~リスクが高まるタイミングをキャッチしよう~	R8年1月14日~27日 ※状況によりオンライン開催
人材確保	介護職員等	外国人介護従事者の採用に必要なステップとは?	R8年2月12日~25日 ※状況によりオンライン開催
介護技術	介護職員等	重度化予防のためのポジショニング~基本から実践まで~	R8年3月11日~24日 ※状況によりオンライン開催
※上記の他にも事業所で行う研修の企画、運営等サポートします。お気軽にご相談ください。			

XII. 他団体情報

団体名	高知県ホームヘルパー連絡協議会		
代表者名	会長 荒川 泰士		
事務局住所	〒780-0870 高知市本町3丁目6-37 かわさき予備校ビル3階		
電話番号	088-821-7756		
FAX番号	088-821-7758		
メールアドレス	nhn@nhcn.jp		
URL	http://khlc.jp		
活動概要	高知県内のホームヘルパーを中心に同じ職種でなければ解決できない課題に向けて、ともに考え学ぶことで、技術・意欲の向上を目的として設立された職能団体です。ホームヘルプの専門性を高める研修会や、サービス提供責任者研修、障害福祉に関する研修など、ホームヘルパーの業務に特化した研修会を開催しております。高知県内のヘルパーのみを対象とした研修会ですので、交流や意見交換の場として気兼ねなく参加できます。		
研修名	対象	テーマ・内容	開催時期
全体研修会	訪問介護事業所の職員、介護等業務に従事する者等	介護の専門家による、ヘルパーのスキルアップのための研修	2025年4月下旬 ※集合・オンライン併用開催
ホームヘルパー 現任研修	訪問介護事業所の職員、介護等業務に従事する者等	障害特性を理解したホームヘルパー養成のための研修	2025年 ※集合・オンライン併用開催
その他研修	訪問介護事業所のサ責や管理職、介護職員、介護業務に従事する者等	労基や法令、ハラスメントやBCP、ノーリフティング、キャリアアップに関する研修等の開催	2025年6月～12月 ※集合・オンライン併用開催

団体名	一般社団法人ナチュラルハートフルケアネットワーク		
代表者名	代表 下元 佳子		
事務局住所	〒780-0870 高知市本町3-6-37		
電話番号	088-821-7756		
FAX番号	088-821-7758		
メールアドレス	nhn@nhcn.jp		
URL	https://www.nhcn.jp/		
活動概要	介護・医療の現場で働く人材を育てる、人材育成のための研修を実施しています。医療・介護の現場に必要な知識・技術のファーストステップとなる内容を発信する統一基本(動画 e-learning)から、セカンドステップとしてのノーリフティング基本技術研修、姿勢援助研修などを実施、更に現場で教育を担う人材を育成する指導者養成研修を実施しています。 「どんな状態でもどこで暮らしていても、自分らしく暮らすことができる高知県」を目標に、研修だけではなく、様々な団体と繋がりながら課題解決に向けて取り組んでいます。		
研修名	対象	テーマ・内容	開催時期
ノーリフティングマネジメント研修	管理者・リーダー・腰痛予防委員会メンバー等	ノーリフティングに継続的に取り組むことができる体制を約半年を通して構築するコンサルタント式の研修。講師とマンツーマンで課題の抽出から解決に向けた計画立案と実施を繰り返し、体制をつくっていく。	希望に応じて日時を決定。
ノーリフティングファーストステップ、基本技術研修、指導者養成研修、アセスメントプランニング研修、医療機関向け研修	ケアに関わる方であればどなたでも受講可能	ノーリフティングとは何かについて学ぶファーストステップ研修から基本的な知識・技術を学ぶ基本技術研修、伝え方を学ぶ指導者養成研修、アセスメント視点を学ぶアセスメントプランニング研修、医療機関に適したノーリフティングケアの手法や福祉用具について学ぶ研修など、全4コースを実施。	年間を通して定期的に実施。
姿勢援助基礎、指導者養成、アセスメントプランニング、マネジメント研修		姿勢援助(ポジショニングやシーティング)に関わる基本的な知識や技術を学ぶ研修、伝え方を伝達するための指導者向け研修、アセスメントプランニングの視点、姿勢援助における組織マネジメントを行うための研修など全4コースを実施。	年間通して定期的に実施 ※開催方法は集合

XII. 他団体情報

団体名	一般社団法人ナチュラルハートフルケアネットワーク（再掲） （高知県委託事業 令和7年度福祉・介護就労環境改善推進事業）		
事務局住所	〒780-0870 高知市本町3-6-37		
電話番号	088-821-7756		
FAX番号	088-821-7758		
メールアドレス	nhn@nhcn.jp		
URL	https://www.nhcn.jp/		
活動概要	高知県では、福祉・介護職員の身体的な負担の軽減を図り、働きやすい職場環境を整備することを目的として、県内の各施設・事業所において、福祉機器等の適切かつ効果的な活用や体に負担の大きいケア手法を改善するノーリフティングケア（持ち上げない・抱え上げない・引きずらないケア）を推進するためのリーダー等養成研修及び普及啓発活動等を実施しています。 ノーリフティングケアに対する正しい知識と技術の習得のための研修を動画配信形式で行っています。		
研修名	対象	テーマ・内容	開催方法・時期
マイスター養成研修 （約100分）	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護医療院、有料老人ホーム等の大規模施設においてノーリフティングの取組を統括する職員	ノーリフティングの取組を中心となって普及していく役割であるマイスターを養成するための研修です。体制づくりのために何を行う必要があるのか、手法について解説します。 【提出課題あり】	動画配信（通年）
小規模事業所向け マイスター養成研修 （約100分）	通所事業所、グループホーム、小規模多機能型居宅介護事業所等においてノーリフティングの取組を統括する職員	ノーリフティングの取組を中心となって普及していく役割であるマイスターを養成するための研修です。小規模事業所での体制づくりのための手法について解説します。 【提出課題あり】	動画配信（通年）
在宅事業所向け マイスター養成研修 （約100分）	訪問事業所、居宅介護支援事業所においてノーリフティングの取組を統括する職員	ノーリフティングの取組を中心となって普及していく役割であるマイスターを養成するための研修です。在宅事業所での体制づくりのための手法について解説します。 【提出課題あり】	動画配信（通年）
技術教育リーダー 養成研修 （約80分）	推進チームにおける教育体制をつくる担当者	ノーリフティングに関する基本的な説明から、現場で実施するノーリフティングケアの手法について解説し、教育体制づくりに向けて何が必要なのかについてお伝えします。	動画配信（通年）
健康管理リーダー 養成研修 （約30分）	推進チームにおける腰痛調査や解決策の実施など健康管理体制を管理する担当者	現場の腰痛保持者や身体的負担のある職員の把握、腰痛保持者への対応策など、業務上での健康を管理するリーダーを養成するための研修です。全職員に向けた腰痛調査や対応策についての手法をお伝えします。	動画配信（通年）
アセスメント プランニングリーダー 養成研修 （約50分）	推進チームにおけるノーリフティングケアの視点でアセスメントプランニングの体制を管理する担当者	ケアの方法は統一されており全員がその方法で行っていますか？ノーリフティングケアが統一されたケアとして提供されるために、アセスメントからプラン立案までノーリフティングケアの視点、そして体制づくりの手法について解説します。	動画配信（通年）
管理者向け ノーリフティング研修 （約30分）	経営層、管理者	ノーリフティングの取組は組織全体で実施しなければならず、そのためには経営層を含む管理者の理解が必要不可欠です。体制を作る前の準備段階として、ノーリフティングの目的、必要とされる背景や効果について解説します。	動画配信（通年）
推進メンバー向け ノーリフティング研修 （約60分）	推進チーム、委員会メンバー	ノーリフティングの取組を中心となって行う委員会メンバーがそれぞれの役割を知り、体制づくりのために何を決め、マニュアル化していく必要があるのかについて解説します。マニュアル作成のために委員会に所属するメンバー全員が受講することをお勧めします。	動画配信（通年）
福祉用具管理リーダー 養成研修 （約30分）	推進チームにおける福祉用具の管理・導入を担当する方	現在現場にある福祉用具、その配置場所、定期的な点検など決められていますか？福祉用具の点検から管理の手法、用具の導入計画等福祉用具管理担当者の役割を解説します。	動画配信（通年）

XII. 他団体情報

団体名	高知県 子ども・福祉政策部 長寿社会課		
事務局住所	〒780-8570 高知市丸ノ内 1 丁目 2-20		
電話番号	088-823-9631		
FAX番号	088-823-9259		
メールアドレス	060201@ken.pref.kochi.lg.jp		
URL	https://kaigojinzai.pref.kochi.lg.jp/		
活動概要	高知県では、「人材育成体制」、「職場環境」、「サービスの提供体制」など、福祉・介護職員の育成や定着、利用者満足度の向上につながる事が期待される取組みについて県が一定の基準を定め、この基準を満たしている法人を認証する「高知県福祉・介護事業所認証評価制度」を実施しています。 認証取得に向けた事業所の主体的な取組を支援するため、人事・労務に関する専門家に講師を依頼し、セミナーを開催しています。		
研修名	対象	テーマ・内容	開催方法・時期
スタートアップセミナー (集合形式：約2時間) (オンライン：約2時間)	介護事業所、障害福祉サービス事業所、児童福祉施設の職員	高知県福祉・介護事業所認証評価制度の仕組みと認証基準を解説します。	集合研修（年2回） 動画配信（通年）
キャリアパスの構築 (約120分)	「高知県福祉・介護事業所認証評価制度」認証法人・参加宣言法人の職員	・実際に使えるキャリアパスの構築の仕方を順を追って解説します。 ・法人代表者、人事・総務部門責任者向け	動画配信（通年）
人材育成と面談 (約100分)		・キャリアパスに対応した人材育成計画の作成の仕方と面談の仕組みづくりを解説します。 ・法人代表者、人事・総務部門責任者、研修委員向け	
新規採用者 OJT計画作成 (約130分)		・早期の離職を防止するための、計画的育成の仕組みづくりを解説します。 ・育成担当者だけでなく管理職にもおすすすめです。	
給与体系の整備 (約110分)		・知っているようで知らない賃金論の基本から昇給の仕組みづくりまで、やさしく解説します。 ・人事・総務部門担当者必見です。	
ワークライフバランス ・健康管理・労務管理 (約120分)		・「働き方改革」への対応策を解説します。 ・人事部門の方だけでなく安全衛生委員の方にもおすすすめです。	
スキルアップセミナー (面談者研修) (約3時間)		・効果的な面談のための心構えと技術を解説します。 ・部下との面談の機会のあるすべての方向け	対面研修（年1回）
スキルアップセミナー (OJT推進者研修) (約3時間)		・自らの事業所の現状把握から、具体的な仕事の教え方まで、OJTに必要な知識・技術・心構えを解説します。 ・指導担当者だけでなく管理職にもおすすすめです。	

※ 「高知県福祉・介護事業所認証評価制度」の概要及び認証取得法人一覧については、特設ホームページ「カイゴのシゴト」にてご確認ください。

令和7年度

スケールメリットを活かした割安な保険料で
充実補償をご提供します!



ホームページでも内容を紹介しています
<https://www.fukushihoken.co.jp>



社会福祉施設総合損害補償

しせつの損害補償

◆加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

プラン1 施設業務の補償

(賠償責任保険、医師賠償責任保険、看護職賠償責任保険、サイバー保険、
動産総合保険、費用・利益保険)

① 基本補償(賠償・見舞費用)

保険期間 1年

▶保険金額		基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
賠償事故に対応	身体賠償(1名・1事故)	2億円・10億円	2億円・10億円
	財物賠償(1事故)	2,000万円	2,000万円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	200万円
	うち現金支払限度額(期間中)	20万円	20万円
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	1,000万円
	身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円	1,000万円
お見舞い等の各種費用	徘徊時賠償(期間中)	2,000万円	2,000万円
	事故対応特別費用(期間中)	500万円	500万円
	被害者対応費用(1名につき)	1事故10万円限度	1事故10万円限度
	傷害見舞費用		死亡時 100万円 入院時 1.5~7万円 通院時 1~3.5万円

▶年額保険料(掛金)	
定員	基本補償(A型)
1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
以降1名~10名増ごと	1,500円
基本補償(A型) 保険料	見舞費用付補償(B型) 基本補償(A型) 保険料 + 【見舞費用加算】 定員1名あたり 入所: 1,300円 通所: 1,390円

② 個人情報漏えい対応補償 ③ 施設の什器・備品損害補償

- オプション1 ● 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 ● 医務室の医療事故補償
- オプション3 ● 看護職の賠償責任補償
- オプション4 ● 借用不動産賠償事故補償
- クレーム対応サポート補償

プラン2 施設利用者の補償

(普通傷害保険)

- ① 入所型施設利用者の傷害事故補償
- ② 通所型施設利用者の傷害事故補償
- ③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償



プラン3 職員等の補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険、雇用慣行賠償責任保険)

- ① 職員の労災上乗せ補償
- ② 使用者賠償責任補償
- ③ 役員・職員の感染症罹患事故補償
- ④ 雇用慣行賠償補償
- ⑤ 役員・職員の傷害事故補償



プラン4 法人役員等の補償

(役員賠償責任保険)

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「しせつの損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉

損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667

受付時間: 平日の9:30~17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ24-11108 より抜粋)

令和7年度

ホームページでも内容を紹介しています
https://www.fukushihoken.co.jp

全社協 保育所・認定こども園の損害補償

スケールメリットを活かした充実した補償と割安な保険料です。



◆ 加入対象は社会福祉法人等が運営する認可保育所、認定こども園

セットプラン

保険金額	基本セットプラン	天災セットプラン
身体賠償（1名・1事故）	1億円・7億円	2億円・10億円
財物賠償（1事故）	1,000万円	1,000万円
受託・管理財物賠償（期間中）	200万円	200万円
うち現金支払限度額（期間中）	20万円	20万円
人格権侵害（期間中）	1,000万円	1,000万円
事故対応特別費用（期間中）	500万円	500万円
被害者対応費用	1名につき 5万円限度 1事故 10万円限度	
死亡保険金	121.2万円	108万円
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4%～100%	
入院保険金（1日あたり）	1,700円	1,500円
手術保険金	入院中の手術：入院保険金日額の10倍 外来の手術：入院保険金日額の5倍	
通院保険金（1日あたり）	1,100円	1,000円
天災補償	なし	あり

基本セット補償保険料計算例

100名で加入の場合

賠償	29,300円
傷害	
870円 ×100名 ×1口	87,000円
合計	116,300円

セットプランを
おすすめします!!



個別プラン

プラン1 保育所業務の補償

- ① 基本補償
 - オプション1 ● 地域子育て支援拠点事業等補償
 - オプション2 ● 保育所の借用不動産賠償事故補償
 - オプション3 ● 看護職の賠償責任補償
 - オプション4 ● クレーム対応サポート補償
- ② 個人情報漏えい対応補償
- ③ 保育所の什器・備品損害補償

プラン2

保育所利用者の補償

- ① 園児の傷害事故補償
- ② 来園者の傷害事故補償
- ③ 園児送迎車搭乗中の傷害事故補償

プラン3

職員等の補償

- ① 職員の労災上乗せ補償
使用者賠償責任補償
- ② 役員・職員の傷害事故補償
- ③ 役員・職員の感染症罹患事故補償
- ④ 雇用慣行賠償補償

プラン4

法人役員等の補償

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

● この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約（賠償責任保険、サイバー保険、学校契約団体傷害保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険）です。

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は「保育所・認定こども園の損害補償」手引またはホームページをご参照ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
〈保険会社〉 TEL：03(3349)5137

受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03(3581)4667

受付時間：平日の9:30～17:30（土日・祝日、年末年始を除きます。）

（SJ24-11619より抜粋）

高知県福祉研修センターの概要

社会福祉法人高知県社会福祉協議会では、地域における福祉の担い手の資質向上を図るとともに、福祉職場における計画的な人材育成を推進するために、平成23年4月から「高知県福祉研修センター」を設置しています。

(1) 体系的な研修の提供

福祉専門職、地域福祉関係者の資質向上を図るための研修を体系的・計画的に実施しています。

- 組織性の向上を図るための研修
- 福祉サービスの質の向上を図るための研修
- 地域の福祉力の向上を図るための研修 など

(2) 地域および職場における研修の推進

福祉職場や地域で人材育成を推進する指導者研修を行うとともに、職場研修の実践を支援しています。

- 指導者養成・職場実践支援
- 研修の企画等に関する相談への対応 など

(3) 福祉研修情報の収集・提供

福祉研修センターや福祉関係団体などが行う福祉研修の情報も収集・提供に努めています。

- 「研修便覧」の発行
- ホームページによる研修情報の提供 など

(4) 研修成果を高めるための取組みの推進

研修での気づきを、現場のサービスの質向上等に活かすための取組みを推進しています。

- 福祉職場の魅力を高め、人材の育成と定着を図る取組みの推進
- 研修成果を高める仕組みづくり など

社会福祉法人高知県社会福祉協議会 高知県福祉研修センター

〒780-8567

高知市朝倉戊375-1 県立ふくし交流プラザ1階

電話：088-844-3605

FAX：088-844-9443

メール：kensyu@pippikochi.or.jp

URL：https://www.shakyo-kensyu.jp/kochi/
(高知県社会福祉協議会研修受付システム)



